



第163号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第137回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第1回フェアリー入門(協力詰)
- ・ Fairy of the Forest #69
- ・ 推理将棋第146回出題

結果発表

- ・ ちょっと早い2022年年賀詰作品展
- ・ 第2回おばかな作品展
- ・ やさしい Imitator PART4 解答編
- ・ 第15回神無太郎の氾濫 解答編
- ・ 推理将棋第145回出題

読み物

- ・ 第1回最後の1ピース作品展要項(再々掲)
- ・ 受先協力詰超入門
- ・ 今月の手筋(多重王手)



## はじめに

受先協力詰 8手

持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		歩							四
		角							五
		ス	王	角					六
		馬							七
		銀							八
									九

持駒 なし

## 今年もよろしく

新年明けましておめでとうございます。もう20日も過ぎていますがお許しを・・・。

やはりというかコロナウイルスの第6波オミクロン株が1月に入り感染爆発してしまいました。まさに年末年始の人流が拍車に輪をかけた状況となってしまいました。

1月23日に予定してた詰四会も中止せざるをえない事となってしまいました。久しぶりに顔を合わせての会合が出来ると楽しみにしていただけに残念でなりません。1月～2月にかけて予定していた大会や会議も軒並み中止の連絡が来ています。報道によるとオミクロン株のピークアウトは3月半ばくらいだろうとの事。まだ2ヶ月もあると考えると仕事を含めて不安でしかありません。新年早々、「今年はよい年でありますように」との願いも早々に挫かれてしまいました。もう我慢するしかないのでしょうか？

家にこもって詰将棋を・・・なんでしょう？詰将棋にかかる時間は増えそうなのに士気が上がらない自分がありますね。まあくよくよ言ってもはじまりません。

令和4年もWFPをよろしく申し上げます。

冒頭の作品は、「年賀詰」の予備作です。頭の体操にどうぞ（予備作の理由も？） たくぼん

## 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

## 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

## 感想

第163号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

## 協力いただいている方々のHPアドレス

\*ご協力感謝します

### 妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

### Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

### 占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

# 第137回WFP作品展(再掲)及び 第138回WFP作品展 担当：神無七郎

## 詰まない詰将棋

皆様、あけましておめでとうございます。  
新年早々の話題にしては変ですが、今回は「詰まない詰将棋」のお話です。  
まずは有名な「逃れ図式」をご覧ください。

### 望月仙閣「五術之作物」 逃れ図式

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	王					皇			一
			飛	飛	皇	飛			二
		と			桂	銀	飛		三
飛	歩				飛				四
						桂			五
			皇						六
									七
								皇	八
								角	九

持駒 なし  
(象戯記大全、1695年)

18 角 27 桂成 同角 36 香 同角 45 歩  
同角 54 歩 同角 63 桂 にて「逃れ」

移動中合 3 回、中合 1 回、限定合 1 回の 5 連続合駒で逃れる見事な逃れ順。門脇芳雄氏の「続・詰むや詰まざるや」では「魔術のような玉方の応手の発見に江戸時代の粹人たちは手を打って興じたのであろう」と解説され、逃れ手順としてこの 10 手が記されています。

でもちょっと待ってください。

63 桂の時点で、これが不詰と分かる人はどのくらい居るのでしょうか？ 仮にこれが実戦で、自玉が必至の状態なら「ここで投了したら格好良いかも…」と心の片隅で思いつつ、もう少し王手を掛け続けるのではないのでしょうか？

もちろん、「逃れ図式」としての主題はここで終わっており、この後王手を掛け続けても、手数延ばしにしかありません。でもそれを承知で、王手が掛からなくなるまで手順を進めるとどうなるか。試してみる価値はあると思います。

不詰の場合にどのような手順を解答すれば良いか、正式な規則はありません。ここでは仮に「攻方最長・受方最短で王手の掛からなくな

る手順を選ぶ」とします。「詰」を求めるのではなく、「不詰（逃れ）」を求める変則ルールとみなすのです。

このルールについては細則の設定が必要なのですが、今回は「早逃れ」と「紛別解」についてのみ説明します。

筆者は自作プログラムの Worst1.exe に「不詰の場合に攻方最長・受方最短で王手の掛からなくなる手順を出力する」という機能を、少し手を抜いた形で追加してみました（手抜きの内容は後で説明します）。すると、以下のような手順が出力されました。

### (Worst1.exe の出力した不詰順)

18 角 27 桂成 同角 36 香 同角 45 歩  
同角 54 歩 同角 63 桂 83 香 71 玉  
82 香成 61 玉 72 杏 51 玉 62 杏 41 玉  
52 杏 31 玉 35 香 33 歩 42 杏 同玉  
33 香成 同馬 34 桂 同馬 43 角成 同馬  
54 桂 同馬 46 香 44 桂 同香 同馬  
34 桂 43 玉 32 銀生 33 玉 43 銀成 同馬  
45 桂 24 玉 25 歩 同玉 26 歩 同玉  
27 歩 同玉 28 歩 同玉 まで 52 手

この手順、何か変だと感じないでしょうか？ 例えば最後の 8 手。「25 歩 同玉 26 歩 同玉 27 歩 同玉 28 歩 同玉」となっていますが、「25 歩 15 玉 16 歩 26 玉」とすれば二歩禁で早く逃れます。プログラムが「攻方最長・受方最短」の規則に反したのでしょうか？

実はそうではありません。プログラムは正常に働き、すべての紛れが詰まないことを確かめた後、「たまたま読んだ手順の中から」攻方最長・受方最短の手順を選んだのです。前述の「手抜き」とは「読まなかった応手の中で、もっと短手数で不詰となる応手がないか」を調べる処理を省いたことだったのです（上の例では歩を取って自然に不詰になったので、取らずに逃げる手は読んでいなかった）。

これは普通詰将棋で「早詰」や「変別解」のチェックを省くことに相当します。正式な用語はないので、「より短い手順で王手が掛からなくなる解」を「早逃れ」、「応手が最適でないため、短手数で不詰になるはずの紛れを最長の紛れと誤認した解」を「紛別解」と呼びましょう。

「早逃れ」や「紛別解」は、「早詰」や「変別

解」を裏返した概念です。筆者は昨年の短編コンクールで「協力逃れ」(先後協力して最短手数で王手が掛からなくなる手順を求めるルール)の作品を発表したこともあり、このような「裏返しの世界」について調べています。裏返しの世界では、表の世界の諸概念(「手余り」「変同」「余詰」「非限定」「千日手」「無駄合」等)に対応する概念や、その扱いについて考えなくては いけません、それについて語るのはまたの機会にしましょう。

フェアリーには「詰」以外の状態を達成目標とするルールがあります。「千日手」や「ステイルメイト」は本作品展でも比較的好く目にしますね。しかし「不詰(逃れ)」を目標とするルールは希少です。「逃れ図式」は「詰将棋に見せかけて実は詰まない」というものですが、最初から不詰と明かして、具体的な逃れ順を求める出題形式は、フェアリーの一分野として成立するはずだと思います。「逃れ」を達成しても「詰」を達成したときほどの爽快感はないかもしれませんが、やってみる価値はあるでしょう。

さて、今回は昨年度の最終出題である第137回の再掲載分と、第138回の新規出題分です。第138回は「ステイルメイト」の達成を目標とするルールの作品が5作も集まりました。「詰まない詰将棋」という言葉は奇妙に聞こえますが、フェアリーではもうそれほど奇妙なものではなくなっているのです。

#### 〔第137回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第137回の出題は全12題(ツインや複数解を含むため実質16題)。今回登場する作者は小林看空氏、占魚亭氏、一乗谷酔象氏、藤原俊雅氏、神無太郎氏、せら氏、上田吉一氏、変寝夢氏、青木裕一氏、くろねこ氏、馬屋原剛氏の11名です。せら氏は今回が初登場となります。

今月も多種多様な作品が登場し、頭の切り替えが大変だと思いますが、期末の特別進行で、今回は通常より解答募集期間が一ヶ月長くなります。この時間を利用して1問でも多く解けるよう頑張ってください。

**137-1**は小林看空氏のライフ作品。双玉&飛角図式で大技が予想できますね。**WFP135-5**は「居成」「居不成」が主題でしたが、本局の主題は何でしょうか？

**137-2**は占魚亭氏のImitator作品。天竺ルールにKnight(騎)まで加わり、フェアリー要素てんこ盛りですが、手数が4手なので根性を入

れば何とかなるでしょう。

**137-3**は一乗谷酔象氏の推理将棋。**136-4**と同様、実戦初形から最短手数で盤上煙にせよという最短手数探索問題です。なお今回は都煙なので、詰上りの盤上駒数は4枚です。**WFP100**号の「詰めば都」(結果稿**WFP101**号)では、この条件を満たす最短手数は45手とされていましたが、その記録を上回る解が発見されたわけですね。推理将棋の形式で出題されていますが、本質的には最短手数探索問題なので、条件1)と2)を満たせば正解とし、条件をすべて満たせば完全な正解として1点加点します。

**137-4**は藤原俊雅氏の受先作品。**136-7**と同様攻方手番なら1手詰ですが、手番は受方です。解が2つあるので、両方の解を求めてください。一つ解が見つければ、もう一つの解も自然に見つかると思います。

**137-5**は藤原俊雅氏の「最後の1ピース」作品。生駒を1枚追加して3手詰の詰将棋(完全作)を作ってください。手順は完全限定です。本局は馬屋原氏の作品との共演を希望されての投稿でしたが、出題数の都合で今月に回ささせていただきました。一ヶ月遅れでの共演実現ということでご容赦ください。

**137-6**は神無太郎氏のGrasshopper(G)を使った点鏡作品。前回、前々回と同様、標準駒にG4枚が追加されています。受方持駒のGは全部使うとは限りません。今回はツイン(組局)になっており、玉位置が1マス分異なります。その違いが手順にどう影響するのでしょうか？

**137-7**は本作品展初登場のせら氏の作品。攻方玉がNightRider(夜)の利きで、受方玉が角の利きです。一見ややこしそうですが、明快な主題の作品なので、あまり難しく考えなくてください。少し動かせば狙いが見えてくると思います。

**137-8**は上田吉一氏のPWC作品。序さえクリアすれば後は楽しい趣向が待っています。お見逃しなく。

**137-9**は変寝夢氏の中立駒作品。中立駒になっているのは玉なので、手番によって受方玉・攻方玉の状態が切り替わります。攻方は中立玉を自玉として見た場合に王手でなく、相手玉と見た場合に王手になる手を指さねばなりません。本局だと初形で既に自玉に王手が掛かっているので、これを防ぎつつ玉に王手を掛ける初手を選ばないといけないわけですね。中立玉の感覚に慣れないという方は過去問(例：**WFP124-10**)

を参考にしてください。

**137-10** は青木裕一氏の作品。これは詰将棋ではなく、作図問題の一種です。与えられた図からPWCのルールに則り、合法局面（逆算可能な局面）にするには最低どれだけの駒の追加配置が必要かを答える問題です。「合法局面」という言葉は定義が曖昧なまま使われることが多いのですが、「合法局面」の解釈の仕方によっては結果が大きく変わることがあります。本作品でそれを実感してください。なお、(C)の「十分多い」は数が具体的に示されていませんが、本図に限っては逆算の選択肢が二桁を越えれば充分だと思えます。また、これは詰将棋ではないので、攻方王手義務は課されません。解答は枚数だけでも結構ですが、それだと偶然正解ということもあり得るので、なるべく追加配置の例も挙げていただくようお願いします。

**137-11** は、くろねこ氏の協力自玉詰。手数が34手とやや長いですが、受方持駒制限があるため、意外と紛れは少ないはず。とはいえ、むやみに王手を続けるだけでは詰まないの、方針をきちんと立てて解図に臨みましょう。

**137-12** は馬屋原剛氏の「最後の1ピース」作品。**137-5**と同様、こちらも完全限定の3手詰の詰将棋を作れという設問です。普通詰将棋の感覚で（多少の非限定を許容して）余詰を消すのは容易ですが、「完全限定」が要求されると、たった1枚の追加で足りるか不安になりますね。もちろんそれは可能ですので、しっかり考えてすべての非限定や余詰を一掃してください。

#### 〔第138回作品展各題への補足説明〕

第138回の出題は全12題（ツインを含むため実質14題）。今回登場する作者は小林看空氏、占魚亭氏、神無太郎氏、藤原俊雅氏、上田吉一氏、上谷直希氏、変寝夢氏の7名です。出題数の関係で小林看空氏の投稿作のうち1題を次回に回しています。ご了承ください。

今月は前回に比べると全体的な難度は低めだと思えます。でも2月は他の月に比べると解答期間が短いので、楽観しすぎないようにご注意を。早めの解答着手をお勧めします。

**138-1**～**137-3** は小林看空氏のライフル作品。今回はどれも協力詰で、手数も短いので、解きやすいと思えます。今までに登場したライフルの手筋を思い出しながら解いてください。

**138-4** は占魚亭氏の **Imitator**& 中立駒作品。攻方をスタイルメイトにするわけですが、

**Imitator** が盤隅にあるので自玉は既に動けません。持駒の中立飛の処理に注力しましょう。

**138-5** 及び **138-6** は神無太郎氏による点鏡と **Grasshopper** (G) を組み合わせた作品。これまでと同様、標準駒にG4枚が追加されています。受方持駒のGは全て使うとは限りません。どちらもG以外の駒が跳ねる手が出てきます。

**138-7** 及び **138-8** は藤原俊雅氏の作品。協力自玉詰と協力詰の組局（ツイン）です。**138-8**の方が易しいので、まずはこちらから先に解くと良いでしょう。各ツイン内の共通性だけでなく、**138-7** と **138-8** の共通性も考えると、より楽しめると思えます。

**138-9** は上田吉一氏による単玉形式の協力自玉スタイルメイト。自陣の駒配置が実戦初形に近い形をしているのが目を惹きますね。攻方玉がありませんが「攻方の合法手をなくす」という達成目標は変わりません。上手く全部の駒を捨てて、「一筆書き」を完成させてください。

**138-10** は上谷直希氏の協力自玉スタイルメイト。初形「1」という新年最初の出題に相応しい作品です。もちろん見所は形だけではありません。解図すれば、『道行』という命名が、より味わい深く感じられると思えます。

**138-11** 及び **138-12** は変寝夢氏のレトロ作品。一方がレトロ協力詰で、もう一方がレトロ協力自玉詰です。どちらも逆算手順が長いですが、詰上りの想定を適切に行えば、迷いなく手を行って行けると思えます。

#### 解答要項

第137回分解答締切:2022年2月15日(火)

第138回分解答締切:2022年3月15日(火)

宛先: [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

#### 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

## ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule137.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

### 【ライフル】

駒を取ったとき、取った駒が元の位置に戻る。  
(補足)

Rifle Chess の翻案。

本来は「居ながらにして利き先の駒を取れる」であるが、「取った後で元の位置に戻る」とも解釈できる。ここでは成・不成の選択ができるよう後者の解釈を採り、以下の細則に従うものとする

- 1) 駒取り時、駒に戻るまでを一手とみなす。駒を取った瞬間だけ「自玉への王手」となったり、「行き所のない駒」になっても構わない。
- 2) 生駒による駒取りで「現位置」「駒取り地点」のいずれかが可成地域にある場合、成・不成を選択できる。

→参照：WFP159 号 (第 135 回 WFP 作品展)

### 【天竺】

玉 (王) の利きが王手をした駒の利きになる。

### 【Imitator】 (■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

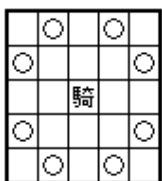
(補足)

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75 号「Imitator の紹介」

### 【Knight】 (騎)

チェスの Knight。八方桂。



(○が騎の利き)

### 【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### 【受先】

受方から指し始める。

### 【n 解】

解が複数あり、指定された n 個の解を求める出題形式。

### 【最後の 1 ピース】

出題図に指定された枚数の駒を“追加”して指定されたルール・手数の完全作にする。追加する駒は、攻方の駒、受方の駒、攻方持駒いずれでも構わない。

(補足)

ここで言う“追加”は、標準駒の範囲内で行われる「受方の駒台または駒箱から盤上または攻方駒台への移動」のこと。玉は駒台に移動しない。

→参照：WFP159 号『「最後の 1 ピース」の紹介』

### 【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足) 行き所のない駒の禁則は適用されない  
→初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)

### 【スタイルメイト】

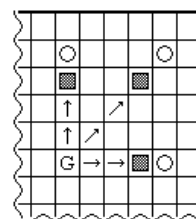
王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

### 【Grasshopper】 (G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○が G の利き)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2 つ以上の駒は飛び越せない。

### 【協力千日手】

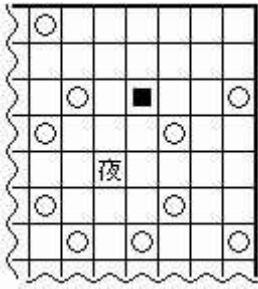
先後協力して最短手数で初形局面に戻す。

### 【NightRider】 (夜)

フェアリーチェスの NightRider。



ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるところから先には利かない。)

#### 【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2)位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4)取られた玉は復元しないものとする。

#### 【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5)中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61号「中立駒の紹介」

#### 【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じて詰むよう

に攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

(補足)

- ・本作品展では普通の詰将棋は「詰将棋」と表記して出題する。複合ルールの場合は組み合わせるルール名の後に「詰」を付けて表す。
- ・攻方最短を要求するときは「最善詰」とする。

#### 【レトロ -m+n手】

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1)特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2)協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数逆算や短い手数詰手順が成立する場合、それが優先される。



<第 137 回>解答締切:2022 年 2 月 15 日(火)

■ 137-1 小林看空氏作

ライフル協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					馬			馬	一
								王	二
						王			三
									四
			王						五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

■ 137-2 占魚亭氏作

天竺協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
			■						八
					王			王	九

持駒 騎

※ ■:Imitator、騎:Knight



■ 137-3 一乗谷酔象氏作

推理将棋 『都の煙とは驚いた』

「さっきの将棋、序盤から激しい駒の取り合いだったね。君が端歩を取ったら相手はすぐ6筋の手で応じたところまで見たけど、あれから、どうなった？」

「こっちの玉は2連続着手が2回あって最後55地点まで移動したんだけど、結局44手目に詰まされて負けちゃった。最後に盤面に残った駒は4枚だけだったよ」

「なんと。都の煙詰とは驚いたね」

「同じ駒の手がよく続いて、1枚の駒は9連続、別の1枚の駒は7連続2回で各々着手された。不成の手は6回だったよ」

[条件]

- 1) 44手目に55玉が詰まされた
- 2) 終局盤面の駒数は4枚
- 3) 先手が端歩を取る手に対し後手は6筋の手で応じた
- 4) 先手玉の2連続着手が2回
- 5) 2枚の駒が各々9連続、7連続2回で着手された
- 6) 不成の手が6回

■ 137-4 藤原俊雅氏作

協力詰 4手 (受先、2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
								馬	三
					王			飛	四
					王				五
									六
					王				七
								飛	八
								馬	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし



■ 137-5 藤原俊雅氏作  
最後の1ピース・詰将棋 3手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
				金				王	三
									四
				金					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし  
※生駒 1枚追加

■ 137-6 神無太郎氏作  
a) 点鏡協力自玉ステイルメイト 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
	王								二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

攻方持駒 香G  
受方持駒 残り全部+ G3  
※G:Grasshopper

b) 点鏡協力自玉ステイルメイト 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
	王								二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

攻方持駒 香G  
受方持駒 残り全部+ G3  
※G:Grasshopper

■ 137-7 せら氏作  
協力千日手 16手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

	馬					馬	馬		一
									二
							王		三
									四
夜									五
									六
									七
									八
	馬	馬	香		香		馬		九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし  
※夜:Nightrider王、玉:角王

■ 137-8 上田吉一氏作  
PWC協力自玉詰 62手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							金		五
								王	六
		龍				銀			七
?						王	香		八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

■ 137-9 変寝夢氏作  
協力自玉詰 20手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							歩		八
							?	王	九

攻方持駒 香  
受方持駒 なし  
※11玉は中立駒

■ 137-10 青木裕一氏作

9 8 7 6 5 4 3 2 1

						龍	龍	一
					王	玉	二	
						玉	三	
							四	
						馬	五	
							六	
							七	
							八	
							九	

持駒 なし

〔設問〕

盤面に駒を追加で配置して、PWCルール下における合法局面を

- (a) 逆算により実戦初形に逆算できる。
- (b) 千日手を無視して、逆算を無限に続けることができる。
- (c) 逆算により十分多い局面に逆算できる。

とした場合、合法局面にするには、最低何枚追加する必要があるか？

配置しなかった駒は全て後手の持駒とする。

■ 137-11 くらねこ氏作

協力自玉詰 34手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								一
								二
								三
								四
	角				と			五
		角						六
								七
					王		王	八
				歩	桂			九

攻方持駒 歩  
受方持駒 飛桂

■ 137-12 馬屋原剛氏作

最後の1ピース・詰将棋 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
						龍	桂	二	
						桂	と	三	
								四	
								五	
								六	
				龍				七	
			角					八	
								九	

持駒 なし  
※ 1枚追加

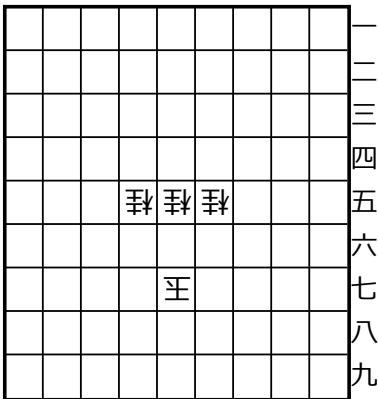


<第 138 回>解答締切:2022 年 3 月 15 日(火)

■ 138-1 小林看空氏作

ライフル協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 香

■ 138-2 小林看空氏作

ライフル協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 銀

■ 138-3 小林看空氏作

ライフル協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

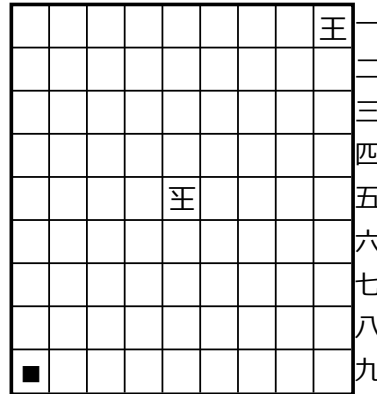


持駒 香

■ 138-4 占魚亭氏作

協力自玉ステイルメイト 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 n飛

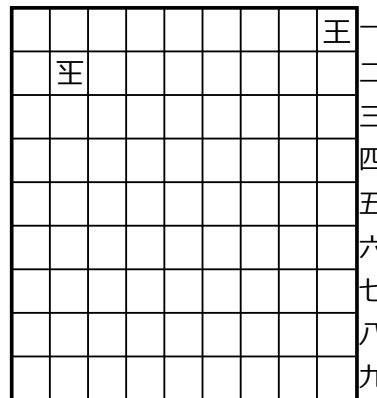
※ ■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 138-5 神無太郎氏作

点鏡協力自玉ステイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 歩G

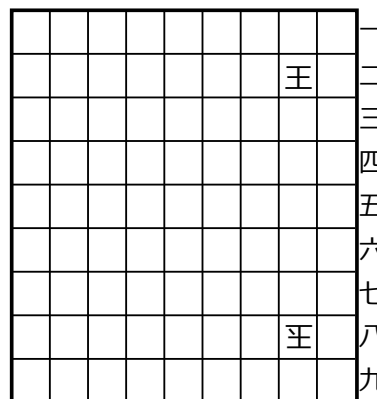
受方持駒 残り全部+ G3

※ G:Grasshopper

■ 138-6 神無太郎氏作

点鏡協力自玉ステイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 飛G

受方持駒 残り全部+ G3

※ G:Grasshopper

■ 138-7 藤原俊雅氏作

a) 協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			王	糸	龍				四
		糸							五
		馬							六
			王						七
									八
									九

持駒 飛角

b) 協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
			王	糸	龍				四
									五
		馬							六
			王						七
		桂							八
									九

持駒 飛角



■ 138-8 藤原俊雅氏作

a) 協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								延	一
									二
			糸						三
									四
									五
									六
			王						七
								王	八
					銀				九

持駒 飛角

b) 協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

馬									一
									二
			糸						三
									四
									五
									六
			王						七
								王	八
					銀				九

持駒 飛角

■ 138-9 上田吉一氏作

協力白玉スタイルメイト 76手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

と	と		と	と	馬				一
と	と			香					二
銀	銀				桂	と	香		三
と	と			王					四
					桂	金			五
					金				六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
香						飛	香		八
角	桂	銀	金	飛	金	銀	桂		九

持駒 なし

■ 138-10 上谷直希氏作『道行』

協力自玉スタイルメイト 18手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
			王							三
			角							四
			王							五
			歩							六
										七
										八
										九

持駒 銀 桂3 香2

■ 138-11 変寝夢氏作

レト口協力詰 -22+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
王	桂									二
						銀	王			三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 歩

■ 138-12 変寝夢氏作

レト口協力自玉詰 -30+2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
									香	二
								桂		三
								王		四
										五
										六
										七
										八
										九
歩										

攻方持駒 なし  
受方持駒 銀

「第 56 回神無一族の氾濫」投稿作品募集

「第 56 回神無一族の氾濫」への参加を募ります。今回のお題は「〇〇だったら1手詰」です。

ある仮定の下では1手詰となるフェアリー作品をお寄せください。

〔例 1〕普通の詰将棋だったら1手詰

自玉詰 2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	王	一
									角		二
						香			銀		三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

21 角成 同龍 まで 2手

上は「普通の詰将棋だったら1手詰」の例です。普通詰将棋では「41 角成 まで」の1手詰ですが、ルールが自玉詰なので角を逆側に成り、攻方玉の方を詰ませます。

これは「ルールが違っていけば」と仮定した例ですが、「局面が少し違っていけば」と仮定することも考えられます。

有名な例としては、加藤徹氏の「寿限無」があります。この作品は「12 香が持駒だったら1手詰」ですが、その実現には19447手もの超長手数が必要とします。

〔例 2〕12 香が持駒だったら1手詰

加藤徹「寿限無」

ばか詰 19447手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

皇									銀	銀	一
	王	角		銀					銀	香	二
	金	香						銀	銀		三
	王	皇						香		歩	四
	桂	桂	桂					香		歩	五
	歩	桂						香		歩	六
								歩			七
								歩			八
											九

持駒 なし

(詰将棋パラダイス,1976年4月, 原図は1975年9月,修正・改良図)

以上

フェアリーに限らず、ある目標を達成するために手順を尽くすのは、詰将棋の醍醐味ですね。

これ以外にも、様々なタイプの仮定があると思います。自由な発想で「〇〇だったら」を想定し、仮定と実際の出題図で別の手順が正解となる作品をお寄せください。

ただし「〇〇だったら」の仮定の部分は、なるべく分かりやすくシンプルなものにしてください。

また、1題通常の協力詰（ばか詰）を募集します。こちらは必ずしもお題とは関係なくとも構いませんが、お題に合った作品を優先して採用したいと思います。

作品要件	「〇〇だったら1手詰」 （ある仮定の下では1手詰となるフェアリー作品）
募集締切	2022年4月17日（日）
募集作品数	4 + 1（協力詰枠）
送り先	神無七郎（k7ro.ts@gmail.com） 上記宛先へ E-mail でお送りください。
備考	1人何作でも投稿可。 メールの件名に「作品投稿」の語を入れてください。 採否は4月24日までに通知します。

## 今月の手筋



（※解答は P30 に掲載）

本コーナーへの投稿を募ります。

「例図」及び「手筋の名称」「意味」「解答」（できればカードの他の項目も）記述して担当者までお送りください。

「手筋の名称」は既存のものがなければ、造語でも結構です。

また、例図は紹介する手筋以外の要素を極力排し、“教材”に徹して下さるようお願いいたします。



# Fairy of the Forest #69出題

- 2021年11月20日：課題発表（協力誌）  
「自由課題」
- 2022年01月15日：投稿締切
- 2022年01月20日：出題
- 2022年02月15日：解答締切
- 2022年02月20日：結果発表

## ■ 出題

今回は、01～03が「受先」特集(?)となっています。その関係で03と04は手数順になっていませんので、ご注意ください。

また、02～05は、たくぼん氏のミニ個展みたいになっています。それを挟んだ形で、トップバッターに新鋭(?)の駒井氏、しんがりには御大の七郎氏が控えるというラインナップです。七郎作は「受方持駒なし」にご注意を。

手数の方も短・中・長と揃いました。全6作をご堪能ください。多数のご解答をお待ちしています。

(解答先)  
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

\*\*\*\*\*

## ■ 69-01 駒井めい

協力誌 (受先) 4手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二							玉			
三									王	
四							馬		隼	
五								歩	角	
六									香	
七										
八										
九										

持駒 なし

## ■ 69-02 たくぼん

協力誌 (受先) 6手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七										
八								王	角	
九										

持駒 香

## ■ 69-03 たくぼん

協力誌 (受先) 20手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七								角	王	
八										
九										

持駒 歩

■ 69-04 たくぼん

協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				銀	歩				五
			銀	王					六
			馬		馬				七
									八
									九

持駒 なし

■ 69-05 たくぼん

協力詰 29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					歩	歩	歩		三
					歩	歩	歩		四
									五
									六
							歩		七
				香		飛	歩	歩	八
			玉		王			馬	九

持駒 なし

■ 69-06 神無七郎

協力詰 85手

持駒 なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								金	二
					銀	金	香	歩	三
				歩		香	王		四
					桂				五
					歩		玉		六
					又		飛		七
				桂		皇	歩		八
					香	馬	馬	馬	九

持駒 なし



# 第 2 回

## おばかな作品展



第 2 回おばかな作品展ですが解答期間を 1 ヶ月延長して合計 8 名の方から解答を頂きました。今回初めて解答を頂いた方もいらっしゃいまして本作品展を開催してよかったなあと考えております。解答者全員正解を 1 つは入れられてましてこちらも良かったと思います。

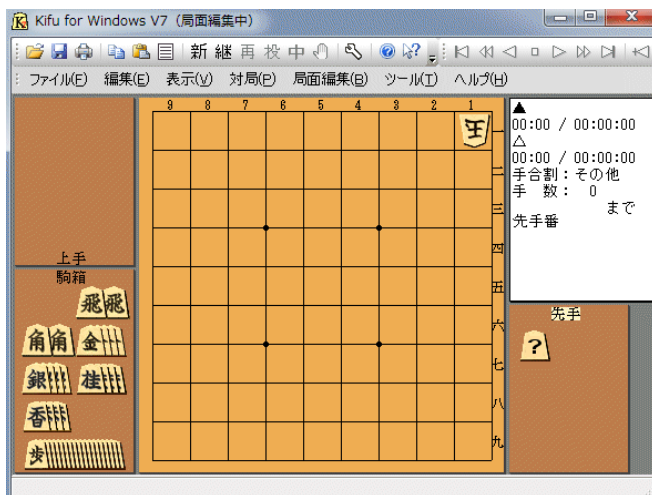
### 【第 2 回おばかな作品展成績】(敬称略)

◎:完全正解 ○:正解 ×:誤解 - :無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
せら	○	○	-	○	×		○	○	-	-	5
一乗谷酔象	○	-	-	-	×		○	-	○	-	3
テイエムガンバ	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和田裕之	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神無七郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1
おばかな透明な部屋	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
占魚亭	-	○	×	-	-	-	-	-	-	-	1
はなさかしろう	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	1

\*\*\*\*\*

### ① たくぼん (作意余詰)



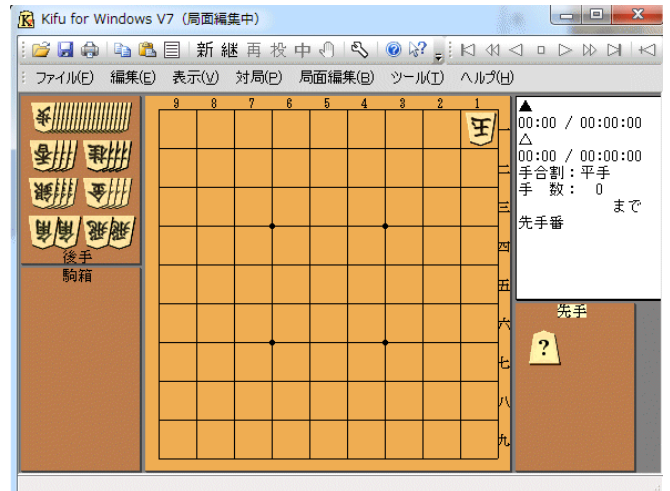
※図の作品は 1 手詰です。ルール名と持駒、詰手順をお答えください。玉は通常の玉の利きを持ちます。なお 1 手詰ですのでかしこ詰、協力詰はどちらでもよいのですが、本作はかしこ詰としてお答えください。

\*盤面がソフト画面なのは持駒がフェアリー駒

ではない。駒箱の中は今全駒揃っていますがこの中から 1 枚持駒とするとお考えください。

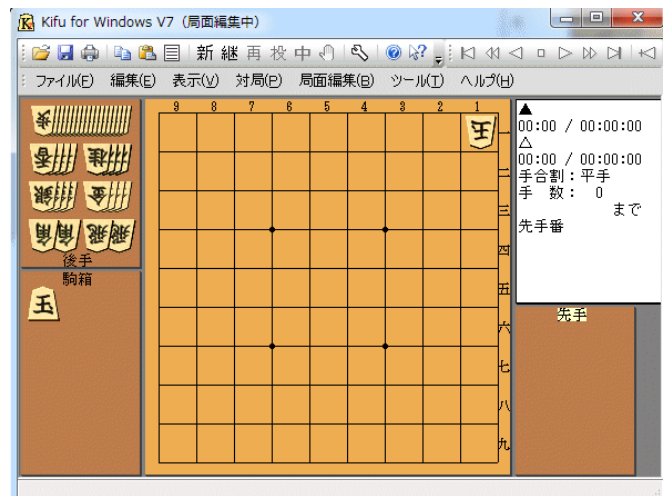
★実は発表図では余詰がありましたので修正図にて説明します。駒箱の駒は正しくは後手持駒(先手持駒の 1 枚を除いて)でした。

### 修正図



★では作意の説明をします。まず何で出題図が Kifu for Windows V7 の画像なのか? 1 つの理由はフェアリー駒は使用してないですよという事。(ちょっと独りよがりではありましたが) もう一つの理由がこのおばか問題の肝となる部分です。

★では皆さん Kifu for Windows V7 を起動して出題図を再現してみてください。普通に【局面編集】→【詰将棋配置】とやるとこうなります。



★どこか違いますね。そう駒箱に玉が1枚入っています。出題図ではそれがありませんね。ではその玉はどこへいったのでしょうか？というのが狙いだったのです。当たり前ですが後手の持駒や先手の持駒には出来ません。盤面にもありませんし一体どこに隠れているのでしょうか？盤の下に落ちたとか元から無かったというへりくつ解もあるでしょうが、それでは面白くありません。図面上でここしかない場所があります。そう作意は11玉の下（上でもよい）。つまり11の地点に玉が2枚重なっていたのです。盤面を上から見ているのでこういう風に見えるのです。えっ？本当にこんなのできるの？と思うあなた！実際やってみました。

(上からの図)



(横からの図)



★まあ何とか見えると思います。ではルールと先手持駒ですが、作意は「ルール：二玉詰、持駒：桂」です。

★11の地点に玉が2枚いますので、23桂の王手に対して、12,21,23に玉が逃げてもその下の玉は11に残ったまま（駒は1枚しか動かす

ことができませんので）なので王手回避出来ていません。よって23桂まで1手詰みです。

★とこれが作意だったんですが当初の出題図では後手持駒が無かった為、持駒が飛、角、香を離して打てば詰んでしまっていました。これは完全にうっかりで後手持駒にすべき所を駒箱に入れてしまった大失態でした。

★解答者にはしっかり推理をしていただいて作意まで到達していただければと思っておりましたが、「おぼかな作品展」という表題でしたのでちょっと路線を間違えてしまったかなと思います。

★12月号でフェアリー駒は不使用というコメントを追加しました。フェアリー駒を使わない偽作意の1つで有力なのが「ルール：PWC、持駒金 12金まで」です。作品として非限定もない完全作ですので正解としていいでしょう。

一乗谷酔象

対面詰、持駒：零、12零まで1手。

※対面にすれば、利きの弱いフェアリー駒を12に打てばよい。最弱のZero"零"やDummy"偶"のほか、Grasshopper系のBishop-Grasshopper, NightRiderHopper, BishopLion, RoseLion, Kangarooでもよい。また、前1マスの利きのない駒で、中将棋の盲虎、泰将棋や大局将棋の盲熊、盲猿でもよい。

側面詰、持駒：零、21零まで1手。

※側面にすれば、横に動けないフェアリー駒を21に打てばよい。最弱のZero"零"やDummy"偶"のほか、Grasshopper系のBishop-Grasshopper, NightRiderHopper, BishopLion, RoseLion, Kangarooでもよい。また、右横の利きのない駒で、泰将棋や大大将棋の右将、天竺大将棋の犬、禽将棋の鶴でもよい。

★12月号発行前に頂いた解答ですのでフェアリー駒使用です。これだけ真剣に考えていただいております。正解とします。

せら

ルール：かしこ詰

持駒：媽（フェアリーチェスのAmazon）

23媽まで1手

短評：条件を満たす図の創作？柿木の画像

が貼られている意味がポイントなのだろうか。

- ★ 確かに詰んでます。しかし 23 媽以外の 13,31,32,33 でも詰む余詰の図ですので正解にはやや劣るとさせていただきます。(正解)

テイエムガンバ

【持駒及びルール】

持駒は角で、盤が盤の端で利きが反射するフェアリー盤であるというルールです。

99 角と打った時点で後手玉に

99-(反射)-89-12-(反射)-11

99-(反射)-98-21-(反射)-11

99-11

の三重王手がかかっています。

【短評】

最初この問題を見たとき、駒箱にある角や飛車が反射角(99 角打まで 1 手)や根津飛車(63 解)なのかと思っていました。しかし、持駒がフェアリー駒ではないというヒントより実は盤がフェアリー盤だったのではという結論にたどり着きました。

- ★ フェアリー盤という発想に驚かされました。正解でいいと思います。

和田裕之

PWC で、持駒金。12 金まで 1 手詰。

- ★ 王道の解答。正解です。

おばかな透明の部屋一同

12 月号を見る前に解答を考えたので、フェアリー駒を追加した解答も一応記載しておきます。突拍子もない解答もございまして、厳しく採点いただければと思います(笑) よろしく願いいたします。

- ★ おばかな透明の部屋一同さんは馬屋原さんを代表とする解答者軍団？です。

- ★ この膨大な回答の中で、作意解にもっとも近づいた解答が<11>です。二玉詰の文字を見て正解者が現れた！と思いましたが、「ただし、ヤクザが逃げたらタマ取るって脅す。」という訳のわからない発言にズッコケました。その他、落語の大喜利のような解答には頭が下がりました。考えてくださった皆

様ありがとうございました。

<1>

ルール：全取禁天竺詰

持駒：桂

詰手順：23 桂

<2>

ルール：全取禁天竺打歩詰

持駒：歩

詰手順：12 歩

<3>

ルール：全取禁対面詰

持駒：香

詰手順：12 香

<4>

ルール：対面キルケ詰

持駒：香

詰手順：12 香

<5>

ルール：全取禁詰

持駒：金

詰手順：12 金 or 22 金

<6>

ルール：透明駒(1+0)※フリーズ(1+0)

持駒：なし

詰手順：X (フリーズ玉)

※フリーズ将棋のルール

<http://freeze.blog.jp/archives/611203.html>

<7>

ルール：PWC

持駒：金

詰手順：12 金

<8>

ルール：最後の 1 ピース

持駒：桂

詰手順：攻方 32 龍追加、23 桂

<9>

ルール：詰将棋

持駒：側面を瞬間接着剤でくっつけた金 2

枚。なお、接着剤は絶妙な強度なので打ったとき剥がれる。

詰手順：(12,22)金 or(22,32)金

<10>

ルール：金縛り玉

持駒：桂

詰手順：23 桂

<11>

ルール：二玉詰

持駒:桂  
詰手順:※23 桂  
※ただし、ヤクザが逃げたらタマ取るって脅す。  
<12>  
ルール:※双方王手義務  
持駒:桂  
詰手順:23 桂  
※攻方玉が居ないので、受方の手番になった瞬間負け。

<13>  
ルール:※天邪鬼  
持駒:金  
詰手順:12 金 or22 金まで  
※負けた方が勝ちとする。ただし、禁手は通常のルールに従う。

<14>  
ルール:※英霊の座  
持駒:金  
詰手順:(1.5, 2)金まで  
※盤の線上および点上を英霊の座として扱う。英霊の座にある駒は、英霊の座にない駒に対して一方的に干渉できる。

<15>  
ルール:フリーズ(1+0)  
持駒:歩  
詰手順:12 歩(フリーズ玉)  
#####  
フェアリー駒使用

<F1>  
ルール:詰将棋  
持駒:ミギー (右上 2×2 の範囲に利きを持つフェアリーピース。例えば 33 に攻方のミギーがあると、11、12、21、22 に行ける。)

詰手順:33 ミギー

<F2>  
ルール:詰将棋  
持駒:獅子  
詰手順:13 獅子 or23 獅子 or31 獅子 or32 獅子 or33 獅子

<F3>  
ルール:詰将棋  
持駒:姫  
詰手順:33 姫

<F4>  
ルール:詰将棋  
持駒:媽  
詰手順:13 媽 or23 媽 or31 媽 or32 媽 or33 媽

★問題文に「完全作とする」と入れておけばもう少し他の解を減らせたかな。解1つ1つにコメントをと思いましたがもう訳が分からなく意味不明なものもあり降参です(笑)

★先月号「はじめに」に記載した作品が少しだけヒントだったんですが・・・

② 小林看空

1/2手詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					飛		科	角	一
						科			二
									三
						王			四
									五
							王		六
									七
									八
									九

持駒 なし

★では作者による解説です。

43 飛成(49 飛成の 1/4)+33 角成(99 角成の 1/4)です。

25 龍までは余詰ですね。玉方 13 桂配置して、余詰を防いでおきましょう。

★私も 25 龍と思いましたが、飛と角が両方最長距離の 1/4 ずつ動いて足して 1/2 詰が正解でした。25 龍は余詰解でした。ほとんどの方がその解でした。

せら  
手に持った龍を 25 におく。

占魚亭  
出題図は飛を持ち上げて盤上から消えた瞬間の局面。

テイエムガンバ



盤面にあった龍を持ち上げた段階が現在の局面(1/2手経過)。このあと 25 龍と指して後手玉の詰み。

【短評】

本当は 1 手前に 22 飛または 23 飛があった場合でも 25 飛成までの 1 手詰なのですが、その場合は「飛車を持ち上げる→飛車を成る→25 龍と指す」という 3 つの動作が必要になるので 1/2 手詰とはいわないだろうという(強引な)判断です。

和田裕之

昔どこかで見た気がするが 1/2 手の意味が分からない...

③ 小林看空

1/2手

										一
										二
										三
										四
										五
王	王									六
		王								七
		王								八
?	歩	王								九

(双方持駒なし)

? = 王が成った駒 (99の駒)

※どちらの勝か? 理由は?

★こちらも作者の解説です。

実は、金プリの終盤戦で、王の成った駒は、一般的には、鬼とよばれている駒です。いま、どちらの番だったかわからないけれど、金を 4 枚振って、4 枚表が出た状態です。(たまたまマス目に上手に金 4 枚入ってしまいました)

金を振ってから駒を動かす、あとの 1/2 手は、

(1)鬼方の番ならば、99 から 4 マス上にすすんで(95に)、鬼が玉を食べて、鬼方の勝

(2)玉方の番ならば、玉が 96⇒97⇒98⇒99⇒89 と 4 マスすすんで、89 に仕掛けの歩(地雷)が

あるので、玉がこれを踏んで、玉方の負け。

いずれも鬼方の勝となります。

玉が鬼になれば、仕掛け(11,19,91,99 は不可)を置けます。

通常歩をコース(今回は反時計回り)に直角において、仕掛け(地雷)を示します。

また鬼がスミ(11,19,91,99)にとまれば、仕掛けを置けると同時に回転の向きも変えられません。

(変えなくても変えてもいい)

金振り将棋を思い浮かべれば、易しいと思ったのですが。

★えっと私には理解不能です(笑)

占魚亭

後手の勝ち。王の裏は何も書かれていない白い) →白旗を揚げた。

④ 神無太郎

歩王詰 1手

				王
				ス
		●		
	龍	桂		
	馬	馬		

持駒なし

21馬 まで 1手

半分に折りたたんだ碁盤の各縦 2 マスを、将棋

盤の1マスとして使っている図。  
通常の将棋盤であれば矢印のところにも星があるので、それが手がかりになるのではないかと考えていました。

### 歩王詰 1手

				王
				ス
		●		
	龍	桂		
	馬	馬		

持駒 なし

盤全体を通常表記するようになります。

### 歩王詰 1手

										ス	一
											二
						馬	桂				三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

「11 と」が成った歩王。

和田裕之ー歩王なのに歩がない？

「と」の右肩に+をつけてロイヤル駒表記すべきでしたね。すみません。

一乗谷酔象ー19馬 まで 1手

不自然な部分図の出題のため、見えない領域に歩王が存在すると推定。19馬で48歩を確

定する。ただし、48歩+38銀等見えない受駒があったらどうなの？の疑問が残る。

見せたくないものを隠している不自然な部分図ですよね。

見えない領域の駒を推定させるという問題も創作できそうですね。ぜひ。

せらー23桂成 まで 1手

使用駒は竜馬、桂馬、と金の3枚。23には竜馬の利きがあるため23桂成で詰み。初形では味方の桂馬に遮られて竜馬は右上方向に動けず、王手がかかっていないという認識でOK？

使用駒が「龍馬」、「桂馬」、「と金」の3枚であると見抜かれているので、これはもはや正解と言っていいでしょう。

「桂馬」に遮られて「龍馬」が動けないという解釈も面白いです。いろいろ細部を詰める必要がありそうですが、この解釈でも問題が創作できそうですね。ぜひ。

正解者：せら（1名）



### ⑤ 神無太郎

#### 命名 "Repeat after me"

#### 協力千日手 10手

											一
											二
											三
											四
	歩	桂	馬	と	香	と		王	遊		五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

詰手順は普通です。  
 手順以外の作意（狙い）を当ててください。

詰手順

35 と 26 玉 25 と 36 玉 26 と 45 玉  
 36 と 34 玉 45 と 25 玉 まで 10 手

作意（狙い）

詰将棋でコンピュータならぬ将棋の駒で英会話。  
 5 段目の駒を左から順に読むと、

ふけいうまときょうと おうひ  
 Who came to Kyoto? / Oh, he.  
 誰が京都に来たか? / ああ彼

せらー狙いはわからず…

和田裕之ー千日手にはできたようだが、作意は  
 すぐにはわからず。

おばかを通り越して詰将棋の問題ですらないので、  
 作意は伝わりませんでした。すみません。  
 なお、手順はみなさん正解でした。

一乗谷酔象ー命名は、10 手 1 組の千日手を繰り返すと  
 先手と金と後手玉が 25-26-26-36-45  
 の経路を繰り返すからか。

命名は英会話教室の象徴のつもりでした。すみ  
 ません。

正解者：なし（0 名）

⑥ 一乗谷酔象

【推理将棋】おばかな将棋教室

「今日の課題は煙詰の創作です。妙手を織り込んで  
 終図盤面の駒数が 3 枚だけの将棋を並べて  
 みましょう。ずばり手数は 46 手です。これだ  
 けでは面白くないので次に挙げる四つのテーマ  
 から一つ選んで手順を示してください。

- A) トドメは銀
- B) 銀をヒク
- C) 終図で飛角金銀は 12 枚スベテ持駒
- D) 終図で歩 10 枚はセンテ持駒

いずれもクリアするのが難しそうですが、取り  
 組みやすいテーマをよく考えて選んでくださ  
 い。ひょっとすると実現不可能なテーマが混ざ  
 っているかもしれません」

(条件)

- ・ 46 手で詰んだ
  - ・ 終図の盤面駒数は 3 枚
- ただし、上記 A~D のテーマのうち一つ満たす  
 こと。非限定は許容する。

※二つ以上のテーマを同時に満たせば超正解で  
 す。また、44 手以下(後手勝ち、A~D 不問)も  
 超正解扱いとします。

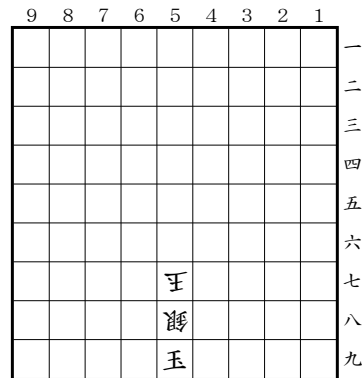
★本作も作者による解説です。

本問は非限定を許容しており、テーマのうち一  
 つ満たしていれば正解。A~D の作意解答例を  
 一つずつ示す。

テーマ A「トドメは銀」の解(一例)

76 歩 32 飛 33 角成 62 玉 23 馬 99 角成  
 13 馬 89 馬 31 馬 17 香成 41 馬 27 成香  
 63 馬 同玉 75 歩 37 成香 66 歩 64 玉  
 21 飛成 75 玉 61 龍 47 成香 71 龍 39 飛成  
 73 龍 66 玉 53 龍 29 龍 43 龍 19 龍  
 83 龍 49 龍 同玉 79 馬 81 龍 69 馬  
 91 龍 87 馬 93 龍 97 馬 同龍 57 成香  
 同龍 同玉 59 玉 58 銀 まで 46 手。  
 ※44 手目に双裸玉となり、46 手目に銀を打っ  
 て詰み

A「トドメは銀」詰上り



先手持駒 飛角金2銀2桂2香2歩9  
 後手持駒 飛角金2銀桂2香2歩9

テーマ B「銀をヒク」の解(一例)  
 76歩 32飛 33角成 62玉 23馬 99角成  
 13馬 89馬 31馬 17香成 41馬 27成香  
 63馬 同玉 75歩 37成香 66歩 64玉  
 21飛成 75玉 61龍 47成香 71龍 39飛成  
 73龍 66玉 53龍 29龍 83龍 19龍  
 81龍 49龍 同玉 79馬 91龍 97馬  
 93龍 87馬 43龍 69馬 47龍 同馬  
37銀 57玉 48銀 同馬 まで46手.  
 ※銀を打って45手目に銀を引く

B「銀をヒク」詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
							銀		八
							玉		九

先手持駒 飛金2銀2桂2香2歩9  
 後手持駒 飛角金2銀3桂2香2歩9

テーマ C「終図で飛角金銀は12枚スベテ持駒」の解(一例)

76歩 32飛 33角成 62玉 23馬 99角成  
 13馬 89馬 31馬 17香成 75歩 27成香  
 66歩 37成香 53馬 同玉 21飛成 64玉  
 41龍 75玉 61龍 47成香 63龍 39飛成  
 43龍 29龍 73龍 66玉 71龍 19龍  
 81龍 49龍 同玉 79馬 91龍 69馬  
 93龍 87馬 83龍 97馬 59玉 88馬  
 同龍 57玉 58龍 同成香 まで46手.  
 ※最終手は58同成香

C「終図で飛角金銀は12枚スベテ持駒」詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
							銀		八
							玉		九

先手持駒 飛角金2銀2桂2香2歩9  
 後手持駒 飛角金2銀2桂2香2歩9

テーマ D「終図で歩10枚はセンテ持駒」  
 76歩 32飛 33角成 62玉 23馬 99角成  
 13馬 37飛成 31馬 17香不成 41馬 19香成  
 63馬 同玉 75歩 29成香 同飛 27龍  
 66歩 47龍 21飛成 64玉 61龍 75玉  
 71龍 89馬 73龍 66玉 53龍 79馬  
 83龍 49龍 同玉 97馬 81龍 87馬  
 91龍 69馬 93龍 57玉 43龍 47歩  
同龍 同馬 48銀 同馬 まで46手.  
 ※42手目に歩を打ち、その歩を43手目にする

D「終図で歩10枚はセンテ持駒」詰上り

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
							銀		八
							玉		九

先手持駒 飛金2銀2桂2香2歩9  
 後手持駒 飛角金2銀2桂2香2歩8

各テーマの作意手順に共通しているのは、後手左香(11香)の活用である。双方とも飛(龍)と角(馬)で駒を連取りする手順に香の手を織り交ぜる。香の終着点の対比が本問の表のテーマであり、11香の軌跡は下記のとおり。

- A: 11~17~27~37~47~57
- B: 11~17~27~37~47
- C: 11~17~27~37~47~58
- D: 11~17~19~29

出題の狙い：煙詰の最短手数を探索して、46手の詰パターンは10通り以上見つけている。手順限定の推理将棋を作って出題することも可能だが、苦労した上、条件てんこ盛りになるのが必然となる。更に解答者が現れるかどうか怪しいのでばかばかしい。そこで、非限定は許容し、煙詰の達成のためには不要な遊び手をテーマに織り込んでみることにした。A,Cは先手の駒取り19枚、Bは後手の駒取り20枚でいずれも駒打ちを含む。また、Dは大駒金駒なしで小駒成を如何に実現するか謎解き。A~Cのような遊び手を入れることができるのであれば、あと2手短縮できそうなものだがなかなか縮ま

らない。一人で探索するの**も**ばか**ば**かしいので解答者に超正解の 44 手解を発見してもらうのが裏のテーマである。達成不可能テーマの存在を匂わせているのは本作品展ならでの設定。1 解だけでも楽しんで解いてもらうことを期待した。

本問は手順の非限定を許容しており、手順構成や詰型の異なる別解があることも想定範囲内である。複数テーマの同時達成は難しいと考えていたが、はなさかしろう氏から作者の想定を超える解答をいただいた。

◎はなさかしろう

(○A 解、○B 解、◎B+C 解、◎C+D 解)

はなさかしろう氏解答 (■作者コメント)

A 解：76 歩 32 飛 33 角成 62 玉  
43 馬 37 飛不成 21 馬 27 飛不成  
31 馬 17 飛不成 41 馬 19 飛不成 63 馬 同玉  
23 飛不成 29 飛不成 75 歩 99 角成  
13 飛不成 64 玉 66 歩 75 玉  
11 飛不成 39 飛不成 61 飛不成 49 飛不成  
同玉 89 馬 71 飛不成 79 馬 81 飛不成 66 玉  
91 飛不成 97 馬 93 飛不成 87 馬  
83 飛不成 69 馬 73 飛不成 47 馬 53 飛不成  
57 馬 同飛不成 同玉 59 玉 58 銀まで 46 手。  
■作意同様 44 手目に双裸玉となって銀打ちの詰み

B 解：76 歩 32 飛 33 角成 62 玉  
23 馬 37 飛不成 13 馬 99 角成 31 馬 17 香成  
41 馬 27 成香 63 馬 同玉 48 銀 64 玉  
39 銀 同飛不成 27 飛 65 玉 21 飛不成 76 玉  
61 飛不成 29 飛不成 71 飛不成 19 飛不成  
73 飛不成 67 玉 53 飛不成 49 飛不成  
同玉 89 馬 43 飛不成 79 馬 83 飛不成 97 馬  
81 飛不成 87 馬 91 飛不成 69 馬  
93 飛不成 57 玉 98 飛不成 47 馬 48 飛 同馬  
まで 46 手。

■48 銀と上がり 39 銀と引く。また、B「銀を引く」別解として、駒落ちの(上手が 71 銀を引く)右銀落ち手順もいただいており、こちらも想定範囲内の正解(手順は後述)。

B+C 解：76 歩 32 飛 33 角成 62 玉  
23 馬 99 角成 13 馬 89 馬 31 馬 17 香成  
82 銀 27 成香 73 銀不成 同玉 53 馬 37 成香

71 馬 47 成香 61 馬 39 飛不成  
43 馬 29 飛不成 21 飛不成 19 飛不成  
41 飛不成 49 飛不成 同玉 79 馬  
81 飛不成 69 馬 83 飛不成 74 玉  
63 飛不成 87 馬 93 飛不成 97 馬 65 馬 同玉  
97 飛不成 76 玉 91 飛不成 67 玉  
98 飛不成 57 玉 48 飛 同成香 まで 46 手。  
■銀引き(82 銀打~73 銀)の B、48 同成香で詰める C の双方を満たす超正解。

C+D 解：76 歩 32 飛 33 角成 62 玉  
23 馬 99 角成 13 馬 89 馬 31 馬 17 香成  
53 馬 同玉 75 歩 27 成香 66 歩 37 成香  
21 飛不成 64 玉 41 飛不成 75 玉  
43 飛不成 66 玉 63 飛不成 57 玉  
73 飛不成 47 成香 83 飛不成 39 飛不成  
93 飛不成 29 飛不成 91 飛不成 79 馬  
81 飛不成 97 馬 71 飛不成 87 馬  
61 飛不成 69 馬 同飛不成 19 飛不成  
68 飛 49 飛不成 同玉 48 歩 同飛 同成香  
まで 46 手。

■48 同成香で詰める C、後手が歩を打つ D の双方を満たす超正解。

はなさかしろう氏コメント

・WFP136-4 で条件を満たさない 45 手解を見つけたときに、手の割り付けからして 44 手で行けてもおかしくはなかったため、44 手チャレンジをしていたらこの問題を見つけました。嵌ってしまってキリがないので、とりあえず見つけた手順を回答します。

・本問は 42 手未満では実現できないことは明らかで、序と収束の具体的な手順を考えればおそらく 42、43 手で不可能なことが示せるのではないかと思います。44 手が不可能なことを示すのは容易ではなさそうです。なにしろ、以下のような自然な手順で 47 手目に飛が馬をジャンプできさえすれば達成しているところなので、手の割り付け自体は難しくないので。しかし…44 手解は未だ見いだせていません。

・参考手順：76 歩 32 飛 33 角成 62 玉  
23 馬 37 飛不成 13 馬 27 飛不成  
75 歩 99 角成 31 馬 17 飛不成 53 馬 同玉  
21 飛不成 19 飛不成 11 飛不成 29 飛不成  
41 飛不成 39 飛不成 61 飛不成 49 飛不成  
同玉 89 馬 71 飛不成 79 馬 81 飛不成 97 馬  
91 飛不成 87 馬 93 飛不成 69 馬

83 飛不成 64 玉 66 歩 75 玉 73 飛不成  
66 玉 63 飛不成 57 玉 43 飛不成 47 馬(E 図)

E 図 (参考手順 42 手目△47 馬まで)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				飛					三
									四
									五
									六
				王	銀				七
									八
								玉	九

先手持駒 飛金2銀2桂2香2歩9  
後手持駒 角金2銀2桂2香2歩9

E 図から 48 飛不成(ジャンプの反則) 同馬まで。

・では本問、テーマを加えての 46 手解。A) トドメは銀 と D) 終図で歩 10 枚はセンテ持駒は攻方が銀 or 歩を打つ必要があり、その分受方が取らなければならない駒が 1 枚増えるので 2 手の負担増。B) 銀をヒク は銀を引くためにまず上がると 1 手、銀を引く手を有効手にできなければ 2 手の負担増。打った銀を打つ場合は A) と同様で、更に打った銀を引く際に有効手にできなければ 3 手の負担増。C) 終図で飛角金銀は 12 枚スベテ持駒 は成香で攻めれば負担は増えません。A~D それぞれを単独で満たすことは可能でした。

・複数テーマの兼帯は A+C は矛盾、A+D は不可能、おそらく B+D も負担が大きすぎて実現できないのではないかと思います。残るは A+B、B+C、C+D ですが、A+B は王手の関係で手順が組み立てられませんでした。B+C、C+D は実現できました。

・以上が正攻法の解答。『おぼかな作品展』なのでおまけ…B) 銀をヒク を銀落ちと見れば 44 手解が可能です。以下は右銀落ち。

F 図 (右銀落ち初形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂		王	玉	金	銀	桂	香	一
	飛						角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

上手(先手)持駒なし  
下手(後手)持駒なし

34 歩 78 飛 77 角成 48 玉 87 馬 73 飛不成  
97 馬 11 角成 79 馬 83 飛不成 57 馬 同玉  
35 歩 93 飛不成 89 飛不成 91 飛不成  
99 飛不成 81 飛不成 69 飛不成 61 飛不成  
同玉 21 馬 49 飛不成 31 馬 44 歩 46 玉  
39 飛不成 13 馬 29 飛不成 35 玉  
19 飛不成 44 玉 17 飛不成 53 玉  
27 飛不成 23 馬 37 飛不成 41 馬  
47 飛不成 63 馬 67 飛不成 73 馬  
62 飛不成 同馬 まで 44 手。

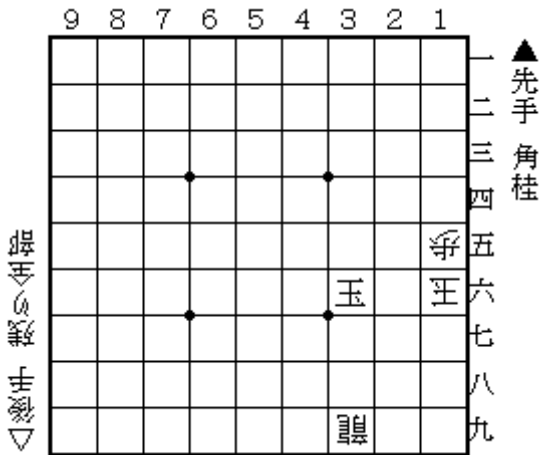
左銀落ちだと、これまで見つけた手順ではメリットが出なさそうですが…お粗末さまでした。  
(作者注：はなさかしろうさんの解答には、途中までしか示されていませんでしたが、解けているのは明らかなので手順を追記しました)

■解答者 1 名のみでしたが、はなさかしろうさんの解答は、作者の想定を上回る超正解手順 2 つを含み圧巻です。E 図の局面から飛が 1 手だけジャンプ(Rook-Grasshopper の動き)できるなら 44 手煙が可能を示されています。実は本問創作時に全く同じことを考えており、思考が共鳴したことに大変うれしく思います。未だ裏テーマの 44 手解の発見には至っていませんが、はなさかしろうさんの解答を拝見してその可能性が高まったように感じました。超正解手順を初め様々な手順を示していただき感謝いたします。出題した甲斐がありました。



⑦ 上谷直希

ばか詰 7手



【作意順】38角、27全合、28桂、同龍、27角、17玉、26銀まで7手

【作者コメント】

合駒読みの問題です。初手は盤上この一手で、2手目玉を逃げてても手が続かないのでここで合駒を考えます。後手の駒台には残、り、全、部の4種類の駒がありますがここは全が正解です。以降は角のピンを解除し、奪った合駒を利用しての詰め上がりです。ちょっとした脳トレになったでしょうか。

★今回の中で「おばか度」が一番だったのが本作。「全」以外の「残」「り」「部」を合駒したらどうなったのか気になります。

一乗谷酔象

38角 27成銀 28桂 同龍 27角 17玉 26銀まで7手。

※2手目が異端の反則手。

せら

38角、27成銀、28桂、同龍、27角、17玉、26銀まで7手

短評：後手の持駒は残、り、成銀、部の4枚なので成銀合ができる。

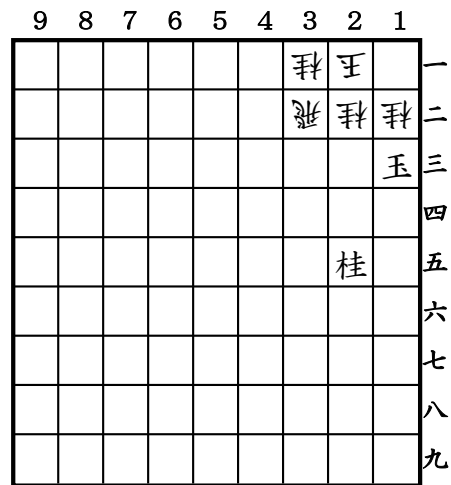
和田裕之

これは特殊な盤らしいが？

★見事一乗谷氏とせら氏が正解！

⑧ 馬屋原剛

協力白玉詰 2002手



持駒歩

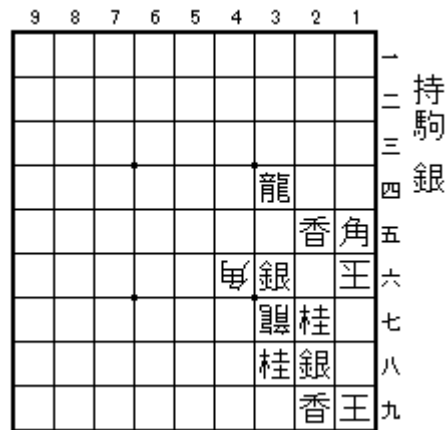
<作意>

「11金、同玉、21金、同玉」×500、33桂生、同飛迄 2002手

<コメント>

一步千金ということで持駒の歩が千枚の金になります笑。

当初は歩合を出すところから始めていましたが、誰もわからなかったのでやめました（下図）。



協力白玉詰 2010手

17銀、同玉、26角、同龍、28銀、16玉、14龍、14歩合、同龍、同龍以下

★一步千金はもっと正解が入ると思いましたが・・・。下図はあまりに無謀でしょうね（笑）

せら

「11金、同玉、21金、同玉」×500、33桂生、同飛まで2002手

短評：一歩＝千金なので持駒は金1000。

★こちらの見事正解を入れられました！

和田裕之

2022手の間違い？

★年賀ではなかったようです。

⑨ 馬屋原剛

協力詰 -2+1手 透明駒 (0+0)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							龍		九

持駒 なし

※逆算するときに王手義務あり

<作意>

以下の局面に逆算する。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							龍		九

透明駒(0+1)

・29金迄1手詰

・91金、同Xとすると出題図になる。

<コメント>

現局面に透明駒が無いからと言って、逆算した局面にも透明駒がないとは限りません。

透明駒(0+0)は、普通詰将棋を出題するときのネタに使われますが、意味を持たせてみました。

★おばかというより結構まじめです。そして正解が入りました。

一乗谷酔象

2手逆算図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
							龍		九

持駒 金、透明駒 (0+1)

逆算図より 91金 +91(=玉)にて出題図

逆算図より 29金 まで1手詰 (X=19玉)

※駒の利きが変わる変身ルールでもないのに玉がワープする不思議。

和田裕之

逆算するときに透明駒を持駒にして、それを打って詰みということのようだが

★ほとんど正解と言ってよいと思います。



⑩ 青木裕一

Anticirce協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				飛					三
			王						四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

28角 63玉 73角成 まで 3手

アンチキルケがフェアリー詰将棋のルールではなく、Fairy Chess ProblemのAnticirceというネタです。両者のルールに、再生位置がふさがっていた時に再生しない(詰将棋)、駒取りできない(Checkmate Problem)といった大きな違いがあります。将棋の盤駒でのAnticirceはImitator使用作に近い印象。

★日本版アンチキルケルールはチェスプロブレムからの導入ですが、持駒が使える将棋に合わせてルールが異なります。本作はそこに焦点を当てました。Anticirceの将棋版の作品は今までであったのでしょうか？私は記憶にないのですが、今回「おばか度」は低いですが作品の出来は抜群ど両王手でした。

神無七郎

28角 63玉 73角成 まで 3手

夢のような両王手。アンチキルケではなく、Anticirceとなっているのがミソですね。復活位置が埋まっていると取れない(これは王手にも適用される)ということだと思います。

和田裕之

51に効かして初手は73角？

\*\*\*\*\*

【総評】

一乗谷酔象

明確な狙いが判ったのは9番だけ。強者作者陣の狙いは殆ど見抜けませんでした。どんな仕掛けがあるのか結果稿を楽しみにしています。

テイエムガンバ

回答した2問ともにおばかというより強引に解を出したというところで他の回答者より劣るかもしれません。2022年は回答者としてWFP作品展を盛り上げることを目標とします。

★WFP作品展を解答者として盛り上げていただけるなんて感激です。今後ともよろしくお願ひします。

\*\*\*\*\*

## 第1回最後の1ピース作品展（再々掲）

\*\*\*\*\*

馬屋原 剛

### ○はじめに

このたび、「最後の1ピース」の更なる発展を目論み、作品展を開催することにしました。創作初心者からベテランまで幅広い層の投稿をお待ちしております。

### ○作品要件

- ・5手以内の最後の1ピース
- ・他ルールとの組み合わせは自由です。但し、馬屋原のキャパオーバーの作品は作者に解説をお願いします場合があります。1人2作まで

### ○スケジュール

- ・投稿締切:2022年1月31日
- ・作品掲載:WFP2022年2月号
- ・解答締切:2022年3月31日
- ・結果稿:WFP2022年4月号

### ○検討

基本的には各自で念入りに検討をお願いします。ただし、創作初心者で検討に自信がない場合は相談に乗りますので馬屋原までご連絡ください。

### ○投稿先

- ・メール:gou.umayabara@gmail.com
- ・TwitterのDM:@umanoko1525

### ○参考

- ・「最後の1ピース」の紹介:WFP159号(2021年9月号)P74~
- ・「最後の1ピース」のルール説明:WFP160号(2021年10月号)P5~

### ○投稿状況:9名(11作)

目標の10名まであと1人です。まだ時間がありますので奮ってご投稿ください。現在の投稿者は以下の通りです。誤りがありましたらご連絡ください。

(敬称略・投稿日順)

占魚亭、springs、駒井めい、上谷直希(2作)、藤原俊雅、宮田敦史(2作)、せら、青木裕一、竹内 亮太

## 今月の手筋（解答）

**解答**

58 飛[I57] まで1手

初形で玉は9枚の駒の利きの焦点に置かれているが、Imitator がすべて無効化している。初手でこれをすべて有効化し、九重王手で詰める。  
 初手 55 飛[I54]は23 玉[I53]、58 飛[I55]は14 玉[I45]、57 飛は13 玉[I45]、59 飛は35 玉[I69]で不詰。58 飛[I57]が唯一詰む着手である。  
 フェアリーでは性能変化ルールや変則駒を使った多重王手の他、アンチキルケや円筒盤など、様々なルールで多重王手が可能。

**適用分野**

性能変化ルール、変則駒、変則盤等

**関連項目** 多重王手解除

# ちょっと早い2022年

## 年賀詰作品展解答発表

ちょっと早い 2022 年年賀詰作品展の結果発表です。解答者はちょっと寂しい 2 名となりました。内容的には楽しめる作品が多かったと思いますが思いのほか解答が届きませんでした。

- 【全題正解】 占魚亭
- 【4 題正解】 橋本孝治

来年はウサギ年です。準備をよろしくお願ひします。(早すぎ)

\*\*\*\*\*

### 1 番 神無太郎作

点鏡協力自玉詰 6 手

持駒 飛2角金4銀4桂4香4歩18Q4

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										王
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
王										九

持駒 角

- ※後手持駒にQがあります。
- ※一応4枚ということにしておきます。

#### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

#### 【点鏡】

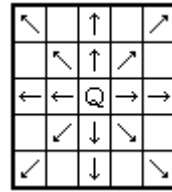
55 に関して点对称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない  
→初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)

#### 【Queen】(Q)

チェスの Queen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



(矢印がQの走る方向)

#### 【作者コメント】

どこが年賀詰だ！？と言われそうですが・・・めでたい色と一直線の攻防でなんとなくということで・・・

88 角 22 金 77 角 33 銀 66 角 88Q まで 6 手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										王
								香		二
							飛			三
										四
					角					五
										六
										七
										八
										九
王										

★本作品展 1 番が太郎さんというケースが多いのですがこれは投稿順に並べているからで、事前にしっかり準備されているのか・・・いや結構こじ付け作が多いので違うか(笑) 今回も「めでたい色と一直線の攻防」とお事ですが「めでたい色」とは一体何なんのでしょうか？解答者の皆様には例年ヒントを出していたのですが今年忘れてしまい。申し訳ありませんでした。

★手順は先手の角を 88→77→66 と動かすだけで右上の詰型を構築する様は感動的ではありません。最後 88Q が 77 に行けないのがうまいですね。

占魚亭

大物は最後に現れる。

橋本孝治

22 の駒で詰まされるので 22 年の年賀詰ということですね。想定内の展開なので、例年より易しかったです。

★22 の駒で...というのは作者の想定外みたい。

## 2番 占魚亭作

### 協力詰5手

											9	8	7	6	5	4	3	2	1	
															龍					一
															■					二
															王	歩				三
															皇		入			四
															馬					五
															玉					六
																				七
																				八
																				九

### 持駒 金

#### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### 【Imitator (■またはI)】

着手をした時、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

#### 【作者コメント】

盲虎を使って何か作ろうと思いましたがいい案が浮かばず、結局いつもの Imitator に。初形は寅の「ト」のつもりです（ある事情から形が悪くなりました）。駒を打つ受けはありません。両王手で詰ましてください。

#### 【作者コメント（解答時）】

ある事情とは、2手目 64 角・4手目 97 角（成生の両方成立）の順を消すためでした。また、2解（もう一つはブログに掲載した図の手順）にもできますが難度が上がるのでやめました。

★Imitator 初心者向けにちょっと考えてみます。まず初手の王手は何が可能でしょうか？

王手を全部書いてみます。まず普通の王手 43 龍、63 龍、45 金、64 金、65 金

この中で持駒の金を打つ手は■ [Imitator]が

動きませんので成立します。

では 43 龍と 63 龍はどうでしょう？■は動かした駒の動きと同じように動きますので、43 龍は 52 龍→43 龍ですので■も 53→44 と動きます。表記は、43 龍[I44]と書きますが、初形を見たら分かりますが 44 には攻方の歩がいますので邪魔して■は動けません。ということで 52 龍は 43 には移動できません。

では 63 龍はどうでしょう？■が動く 64 には何もいなかったので 63 龍[I64]とすることは出来ます。しかしながら 63 龍が次に 54 玉を取るには 64 にいる■が 55 に動く必要がありますが、55 には受方香が邪魔しており動けません。ということは 63 龍も 54 には行けないということで 63 龍[I64]は王手ではありません。

では王手はこれだけかということそうではありません。53 の■がいなければ龍による王手になります。持駒打っても■は動きませんので盤面の駒を動かせば一緒に■も動かされます。ということで 66 王[I62],68 王[I64]も王手ということになります。この手筋は Imitator 作品は頻出の手筋ですので是非覚えておきましょう。

では 2 手目を考えてみましょう。たとえば初手 64 金としてみましよう。これに対する応手はどうでしょう。

#### 44 玉[I53],同玉[I63]

これくらい？いえいえ Imitator を侮ってはいけません。64 金が 54 玉を取るとき■は 43 に移動しますね。ということは 43 の地点が埋まっていれば 64 金が 54 玉を取ることには出ません。ですから 43 に駒を打つ手も防手になります。ではこれくらいかということまだまだです。■の（攻方からみて）右に駒があれば 64 金の王手が解除されるのですから、受方は盤面の駒を動かしてその位置に■を持っていけば王手が解除されます。つまり 65 角[I62]も防手となります。えっ？52 龍で玉が取られる？いえいえ 64 に金が邪魔して 62 の■は 64 に行けないので 52 龍も 54 玉が取れません。その時 55 香は逆王手にも見えますがこれも■が 64 に行けないので逆王手ではありません。

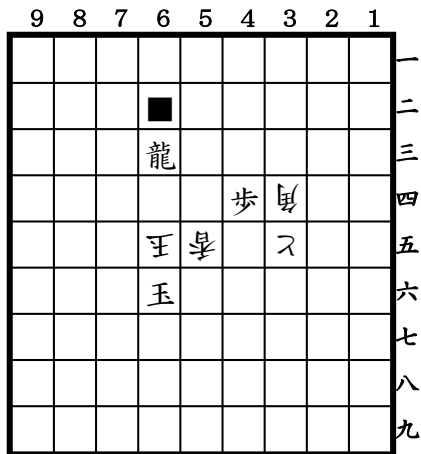
攻方、受方の手を見てきましたが Imitator 作品の解図が難しいのは通常の王手の他にこのような王手を 1 手 1 手読まなければならず紛れが普通の作品より膨大になるため

す。

初心者講座はこの位にして作品を見てください。

65 金 同玉[I64] 63 龍[I75] 34 角[I53] 66 王[I62]  
まで 5 手

詰上図



★初手は王移動ではなく 65 金が正解です。同玉とすると■は 64 に移動します。ここで 63 龍と王手するのが気づき難い 1 手。64 に■がいる関係で 63 龍が王手にならないと思うからです。実際は 52 龍が 63 に移動するのにあわせて■も 75 に移動するので王手です。この手の防手が難しい。先ほど解説したように 63 龍の王手解除の方法は 64 合の他に■を移動する手があります。作意は■を移動させて王手解除する 34 角[I53]ですが、23 角[I42]とする手もありそうです。しかしながらそれは最終手が出来ないのです。詰上図を見てください。23 角の場合は、d ■が 51 にいるため 66 王は 65 玉に取られてしまいます。作意の場合は 63 龍がいるため 62 の■が 63 に行けないため 65 玉は 66 王を取れません。結局、63 龍と 66 王による両王手となり防手がなく詰上りとなります。Imitator 作品は単王手は■の動きを制御する駒打ちによる防手が強力なので両王手での詰上りはよく出てきますので覚えておけばよいでしょう。本作は両王手を意識すれば初手の金捨てがまさかの一手で、まさか龍と王の両王手とは…。心理的にも難解な作品とっていいでしょう。

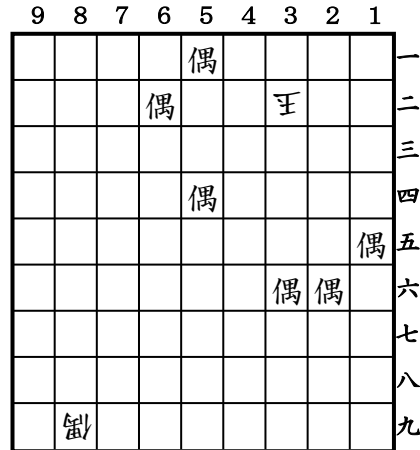
橋本孝治（無解）

詰みそうで詰まない紛れが多く、降参して解答を見ました。龍と金の両王手だと思い込ん

でいたので、龍と玉の両王手は想定外です。

★あの橋本さんが無解ですので難解だったことは間違いありません。Imitator は 5 手でも難しい！

### 3 番 変寝夢作 協力詰 21 手



持駒 パ3

偶 = ダミー

パ = 2 2 リーパー

#### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### 【偶（ダミー）】

自分では動かない駒

#### 【パ（22 リーパー）】

2 対 2 の方向に跳ぶ八方桂。プロブレムでは ALFIL で象（パオーンと叫ぶアレ）の意です。ので「パ」を使用。

#### 【作者コメント】

今年はフェアリー駒 2 2 リーパーで作ってみました。単純な追い趣向ですが、年賀詰なのでこんなものでしょう笑

14 パ 33 玉 11 パ 44 玉 22 パ 54 玉  
 32 パ 55 玉 33 パ 66 玉 44 パ 76 玉  
 54 パ 77 玉 55 パ 88 玉 66 パ 98 玉  
 76 パ 99 玉 77 パ まで 21 手



詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				偶					一
			偶						二
									三
									四
								偶	五
		パ	パ			偶	偶		六
		パ							七
									八
王	銀								九

★数学的に考察したらちゃんとした解法があるかもしれませんが、初手 14 パしかありませんので何度か駒を動かして 99 の地点に追いつくことさえ分かれば答えに辿り着けるのではないのでしょうか？ 22 リーパーは日頃見ない駒なので利きが分かりにくいところはあるでしょうがまさに駒と戯れてというのがいいでしょうね。

占魚亭

ALFIL 3 枚の打ち場所が決まれば後は易しい。面白かったです。

橋本孝治

詰上りを先に考えるとほぼ自動的に解けますが、感触としては 3 枚銀追いに近いように感じました。利きが疎な駒は王手が途切れやすいので、使いにくい反面、独特の趣向が眠っているかもしれません。

4 番 神無七郎作

禁欲ライフル協力詰 83 手

持駒 歩 18

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	王	一
							香	科	二
							皇	龍	三
							香	香	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【禁欲】

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【ライフル】

駒を取ったとき、取った駒が元の位置に戻る。(補足)

Rifle Chess の翻案。

本来は「居ながらにして利き先の駒を取れる」であるが、「取った後で元の位置に戻る」とも解釈できる。ここでは成・不成の選択ができるよう後者の解釈を採り、以下の細則に従うものとする

1)駒取り時、駒が戻るまでを一手とみなす。駒を取った瞬間だけ「白玉への王手」となったり、「行き所のない駒」になったりしても構わない。

2)生駒による駒取りで「現位置」「駒取り地点」のいずれかが可成地域にある場合、成・不成を選択できる。

→参照：WFP159 号（第 135 回 WFP 作品展）

12 龍/13 龍 12 歩 [同龍/13 龍 12 歩]×18

同龍/13 龍 同金/14 金

[12 歩 同玉/11 玉]×18

21 香成/22 成香 同玉/11 玉

13 香 12 飛 同香生/13 香 22 玉 32 飛 21 玉

33 桂 迄 83 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
						飛			二
						桂	皇	香	三
							香	香	四
									五
									六
									七
									八
									九

作者

禁欲名物「持駒が邪魔駒」。「ライフル」と組み合わせることで「双方持駒消去」を簡潔に

実現できました。「一步千金とは何だったのか」という短評を期待しています。

★禁欲とライフルの組合せはどんな作品が生まれるのでしょうか？七郎さんは昔から新しいルールを知るにはどんな趣向作が出来るか考えるって感じの事をおっしゃっていましたので本作がまさにその答えとなるのでしょうか。

★まず初形から 21 の香を取る変化を考えてみましょう。21 香成/22 杏 同玉/11 玉 となりますがここで禁欲条件で 12 龍と桂は取れず 22 龍の一手となり同玉/11 玉で詰みません。初形から 12 龍/13 龍と桂を取る一手となり、同金/14 金としたいのですが持駒に歩があるので禁欲条件でだめで 12 歩と合駒するしかありません。以下は受方の持駒の歩が無くなるまで続きます。38 手目にやっと持ち歩が無くなり 13 金/14 金と龍を取る事が出来ました。(38 手目)

持駒：飛

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇	王	一
							香		二
							皇		三
							杏	杏	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩18

★初形で受方の持駒にあった歩 18 枚がこの時点で攻方に移動しました。この局面、攻方は 21 香成/22 杏としたいのですが持ち歩があるため禁欲条件で 12 歩と打たざるを得ず受方も同玉/11 玉の居食いしかありません。結局持駒の歩を使い切るまで打ち続け歩が無くなった時やっと 21 香成/22 杏と取る事が出来て収束します。詰上りもライフル特有の形で居食い出来ません。

★簡単に解けて持駒の歩 18 枚が受方→攻方→受方と移動するユーモア溢れる軽趣向で新年に最適だったのではないのでしょうか？

★ちなみにですが、受方の歩 18 枚を歩 1 枚にすると 15 手の唯一解にならず余詰が発生します。なぜ？皆さんちょっと考えてみてください

ね。

占魚亭

やさしく楽しい軽趣向長編。飛を渡すために歩を獲得し、飛を回収するために歩を捨てるストーリーで、歩の着手が全て同地点なのが上手い。

たくぼん

歩 18 枚の存在価値って一体(笑)って作品ですね。禁欲とのオモシロイ掛け合わせでした。

### 5 番 たくぼん作

強欲協力自玉詰32手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						金	銀	科	五
									六
						銀	銀	銀	七
								飛	八
						角	玉		九

持駒 なし

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【作者コメント】

手を続ければ解けると思います。先手王をコロナウイルスだと思って封じ込めてください(笑)

88 飛 同玉 89 歩 87 玉 88 歩 86 玉

76 金 同と 87 歩 同玉 76 角 77 玉

78 歩 同玉 67 角 同玉 56 銀 同玉

46 金 57 玉 47 金 同玉 36 銀直 37 玉

26 銀引 46 玉 37 銀 同桂成 47 銀 同玉

38 銀 同成桂 迄 32 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
							手		八
							玉		九

★ 序はほとんどお決まりの手順で進み、23 手目からの 36 銀直→26 銀引→37 銀捨てで桂を成らすのが狙いの一着です。まあここだけですね。

占魚亭

終盤の銀繰りで1回失敗しました（笑）

橋本孝治

「ちょっと早い年賀詰作品展」では、いつも真っ先にたくぼんさんの作品を解くようにしています。収束で少し考えましたが、今年も順調に解けて気分爽快です。

【総評】

占魚亭

正月休みはプロブレム漬けでした。今年も Imitator ばかりになると思いますが、よろしくお願いします。

★私も久しぶりにプロパラ解いてました。ルールをほとんど覚えていないので、いちいちルールを読み返さないといけないのがネック。

## 推理将棋第146回出題

担当 Pontamon

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第146回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2021年2月10日までに TETSU まで

(omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第146回解答」をお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！1題でも解けたらぜひご解答ください。

\*\*\*\*\*

みなさん、あけましておめでとうございませう。本年も推理将棋をよろしくお願ひします。

2022年元旦の年賀推理将棋の出題はバラエティにとんだ7手詰から22手詰までの9題でツインを含め10作の大量出題になりました。

年賀推理の投稿、ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

### ■本出題

#### 146-1 初級 NAO 作

令和4年の決め手 7手

7手詰に1条件の年賀詰がありました。ウォーミングアップにどうぞ。

#### 146-2 初級 諏訪冬葉 作

新春9-2問題 9手

年賀条件でお馴染みの11と今年の22が入った最短手数問題です。

#### 146-3 初級 けいたん 作

42金まで香落ち 10手

手合い割は(左)香落ち。年賀推理に関係がありそうな手は何でしょう。

#### 146-4 中級 NAO 作

2022年の指し初め 11手

1筋の端攻めもにありますが、後手玉の位置はどこになるのでしょうか。

#### 146-5 中級 Pontamon 作

2022年(令和4年)の指し初め 11手

端の歩と香なら先後で8手可能。端の1手を限定できる状況は？

#### 146-6 中級 ミニペロ 作

2022年は2尽くしで 11手

年賀条件に令和4年の"4"は無く"2"だけの条件作です。

#### 146-7 上級 緑衾 作

元旦の2局 11手×2

先手は西暦条件縛りの着手、後手は元号の年条件縛りの着者の2局です。

#### 146-8 上級 はなさかしろう 作

2022寅年の指し初め 20手

年賀詰みらしく11の玉が2022(20手目の22着手)で詰みになります。

#### 146-9 上級 斧間徳子 作

2022年(令和4年)の指し初め 22手

隅玉は11ではなく99ですが、後手玉は11箇所へ動いたとのことです。

\*\*\*\*\*

### ■中間ヒント (1月27日頃 作者)

### ■締め切り前ヒント (2月3日頃

Pontamon)

\*\*\*\*\*

#### 146-1 初級 NAO 作

令和4年の決め手 7手

「あけましておめでとう。指し初めの一局はどうだった？」

「7手目に4筋の手を指して詰ませて勝ったよ」

「令和4年の元旦にぴったりだね。今年もよろしく」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

・7手目4筋の手で詰んだ

\*\*\*\*\*

#### 146-2 初級 諏訪冬葉 作

新春9-2問題 9手

「今年の初対局は9手で勝ったよ」

「わーすごいね」

「最終手は11の駒を22に動かしたんだ。22年1月1日にふさわしいだろ」

「わーすごいね」

「7手目は77におまけの文字がつく手。景気よさそうだろ」

「わーすごいね」

「お前『わーすごいね』しかいってなくね？」

「わーすごいね」

「・・・」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 7手目は77で補助記号がある手
- ・ 9手目は11の駒を22に動かした

\*\*\*\*\*

**146-3 初級 けいたん 作**  
**42金まで香落ち 10手**

「42金まで10手で詰みか。香落ちは卒業かな」

「上手角が2回動いたね」

「上手に5～9筋の着手はないな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

手合い割：香落ち

- ・ 42金まで10手で詰み
- ・ 上手角が2回動く
- ・ 上手に5～9筋の着手なし

\*\*\*\*\*

**146-4 中級 NAO 作**  
**2022年の指し初め 11手**

「初手と2手目は同じ種類の駒を同じ筋に指していたね。その後、11地点の手に対しては1筋の手で応じていたけど、あの将棋どうなった」

「11手目に22地点に小駒の手を指したら、それが初王手で詰んじゃった」

「2022年元旦に相応しい指し初めの一局だね。今年もよろしく」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手目22地点の小駒の手が初王手で詰んだ
- ・ 11地点の手に対し1筋の手で応じた
- ・ 初手と2手目は同じ種類の駒を同じ筋に指した

\*\*\*\*\*

**146-5 中級 Pontamon 作**  
**2022年(令和4年)の指し初め 11手**

「11手で詰んだ指し初めは、2筋と端の手が2回ずつで1筋の手は1回だったね」

「2022年元日らしい差し手だね。あと、令和4年らしく4手目は4筋の手だった」

「駒成や駒取りは2回で、どちらも駒成で小駒を取る手だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 2筋と端の手は2回ずつ(1筋は1回)
- ・ 4手目は4筋の手
- ・ 駒成や駒取りは、駒成で小駒を取る2回だけ

\*\*\*\*\*

**146-6 中級 ミニベロ 作**  
**2022年は2尽くして 11手**

「2022年の年賀推理を作ったよ」

「令和4年と言わないところを見ると、2尽くしだね」

「ご明察。成る手はなく、小駒の不成が2回あるんだ」

「まずは一つ目」

「後手の指し手は二つの筋だけで、交互に着手するんだ」

「二つ目の2だね。それから？」

「飛車の手があったね」

「それ、2と何か関係あるの？」

「・・・・・・・・」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 11手詰
- ・ 成る手はなく、小駒の不成が2回あった
- ・ 後手の指し手は二つの筋だけで、交互に着手した
- ・ 飛車の手があった

\*\*\*\*\*

**146-7 上級 緑衾 作**  
**元旦の2局 11手×2**

「今日は元旦だから11手目に詰む将棋を指そう。2局にしようか。」

「では僕はどちらも先手で2022年に因んでそれぞれの筋の着手回数を0回か2回にするよ。」

そして、着手回数が0回か2回の駒は取らないよ。」

「私は後手で令和4年に因んで4手続けて同じ筋に指すよ。」

1局目は2手目から2局目は4手目からにするね。

そして、着手は4段目以内だけにするよ。」

「予定通り指せたね。どちらも銀の手がなかったね。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手目で詰む将棋が2局
- ・どちらも先手はそれぞれの筋の着手回数は0回か2回だった
- ・どちらも先手は着手回数が0回か2回の駒は取らなかった
- ・後手は1局目は2手目から2局目は4手目から4手続けて同じ筋に指した。
- ・どちらも後手は4段目以内だけだった
- ・どちらも銀の手がなかった

\*\*\*\*\*

**146-8 上級 はなさかしろう 作**  
**2022 寅年の指し初め 20手**

「あけましておめでとう！ 指し初めの予行演習してきたよ」

「謹賀新年、待ってたぞ！ それでどんな将棋にするつもり？」

「20手目の2二角引不成で1一の玉を詰ませたい」

「なるほど。でもそれだけでは決まらないね」

「西暦年を12で割って6余るのが寅年だから、

1二への着手に対して6筋への着手で応じたことがある、というのはいかが？」

「……これはまた、こじつけたね。でも解きやすいからそれで投稿しよう」

「「というわけで、本年もよろしくお願ひします！！」」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・20手目の2二角引不成（棋譜表記）で1一の玉が詰んだ
- ・1二への着手に対して6筋への着手で応じたことがあった

\*\*\*\*\*

**146-9 上級 斧間徳子 作**  
**2022年(令和4年)の指し初め 22手**

「元旦の指し初めの将棋、2022年にふさわしく22手で先手玉が詰んだって？」

「新年のお年玉じゃないけど、玉の手が多い将棋だったよ。」

先手玉は4回連続で動いて99で詰んだし、後手玉は異なる11カ所の地点に連続で動いたんだ」

「おお、令和4年の1月1日にふさわしいじゃない」

「令和4年といえば、4段目の手がちょうど4回あったよ。駒を成る手はなかったけど」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・22手で詰んだ
- ・先手は玉を4回連続で動かして99へ移動した
- ・後手は玉をすべて異なる11の地点に連続で動かした
- ・4段目への着手が4回あった
- ・駒を成る手はなかった

# 推理将棋第145回出題解説

担当 Pontamon

第145回は14名の方々から解答をいただきました。解答、ありがとうございます。  
 作者へのヒント作成依頼を忘れていて中間ヒントの投入が遅くなり、ご迷惑をお掛けしました。(145-1の中間ヒントは担当が、締め切り前ヒントは作者からのものになりました)

\*\*\*\*\*

## 145-1 初級 NAO 作

高飛車くん(その7) 9手

「見たかい。俺の5段飛車」  
 「相変わらず高飛車だな。たったの9手で詰みか。君の5段目への飛の手に対し、相手は6筋への飛の手で応じていたね」  
 さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 5段目への飛の手に対し6筋への飛の手で応じた

\*\*\*\*\*

出題のことば(担当 Pontamon)

投稿いただいた高飛車くんシリーズでは最後の9手詰作品です。

作者ヒント

飛の手は3回(担当)

締め切り前ヒント

龍の手がトドメで高飛車くんの勝ち(NAO)

\*\*\*\*\*

推理将棋145-1 解答

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△62飛、▲22飛成、△52金左、▲31龍まで9手

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 5段目への飛の手に対し6筋への飛の手で応じた(5手目▲25同飛、6手目△62飛)

詰上り図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	王			龍	科	皇	一
			飛	王					二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角銀歩

先手の高飛車の手に対して後手は飛の手で応じたということなのですが、7手詰手順に2手足した形の可能性があります。参考1図は、先手の飛先の歩を突いて行く7手詰手順に於いて、先手が一旦▲25飛と高飛車の手を余分に指して、それに対して後手が飛の手を指せば良さそうです。後手の飛の手は玉の退路を塞ぐ△42飛がピッタリなので条件をクリアしていると思ったのですが、条件では高飛車の手に応じる飛の手は6筋でなければいけないのでこの手順は失敗でした。

参考1図：▲26歩、△42玉、▲25歩、△24歩、▲同歩、△32玉、▲25飛、△42飛、▲23歩成まで9手

参考1図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	王		王	龍	科	皇	一
					飛	王	皇		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	と	歩	三
									四
							飛		五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩



参考1図の手順では7手目に高飛車の手を指していますが、どうやら先手の7手目の高飛車の手の直後に後手の飛の手を指す手順は無さそうです。会話からすると、先手が高飛車の手を指すようなので、残る可能性は5手目の高飛車の手になります。5手目に先手が高飛車の手を指せるのはどんな手順でしょうか。後手なら▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同飛の次に3回目の着手で△35飛を指せますし、▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲35角、△45飛のように自分の手番の3回目に3筋や4筋から5段目へ飛が出て行くことができます。先後を変えて、▲78飛や▲68飛と飛を振って、後手角に7筋や6筋の歩を取ってもら手順を考えてみると5手目の▲65飛や▲75飛の手を指すことはできません。

となると、飛を他の筋へ振らずに5段目へ進むことができる2筋の歩を突いて行く手順しか無さそうです。参考2図では互いに2筋の歩を突き合って、5手目に▲25同飛を実現する手順になります。この高飛車の手に対して後手は△62飛と指して玉の退路を塞ぎます。先手は角で王手をして銀を42でピンして、▲21飛成で合い利かずの形にしたかったのですが、後手の協力手△52金左が間に合っていないのに既に手数オーバーの11手の不詰みでした。

参考2図：▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、△62飛、▲22飛不成、△34歩、▲33角、△42銀、▲21飛成 まで11手

参考2図

後手の持駒：歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	科	飛	王	王			龍	▲	一	
			飛		銀				二	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	角		▲	三	
						▲			四	
									五	
									六	
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七	
	角								八	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九	

持駒 桂歩

5手目の高飛車の手はこの2筋の手順しか無さそうなのですが、5手目の高飛車の手のあとの2手で後手玉を詰めるのが至難の業のように思えます。7手目に22の角を▲22飛成で取って、42地点へ角を打っても後手の金銀があるので詰みになりません。2段目には後手の飛も利いているので、やはり1段目を攻めたいところです。1段目にある金銀が邪魔ですが、金が△52金左と上がって▲31飛成で銀を取るはてるま手筋が思い浮かんでも先手の飛は2筋に居るので▲31飛成ができません。3筋や7筋の最奥への飛成で詰めるはてるま手筋の作品が多いのですが、最終的にそこに龍があれば良いことに気付けば、25に居る飛が▲22飛成から▲31龍で31へ移動する2手ではてるま手筋の形を実現することができます。参考2図と同様に初手から6手目までは同手順で、7手目からの3手は▲22飛成、△52金左、▲31龍で詰みとなりました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

NAOさん(作者)「シリーズに一間龍の詰型は入れておきたかった。」

■失敗の参考図と余詰ではよく登場する1間龍。

ミニベロさん「この順はいろいろ手を変え品を変え作品化されてますが、とうとう高飛車君まで出てきましたか。」

この順を使う人はこれでしばらく出ないでしょう。」

■担当の不勉強なのか、この手順の過去作を見つけることができていませんでした。1間龍の詰み上がりの形という意味かな。

はなさかしろうさん「これまでの高飛車くんシリーズはどれも難しかったですが、本問は制約がかなりきつく、手が限られていました。この筋は9手の基本のはずなのですが、第4回-1の陰に隠れる形になっていて盲点になります。」

■4-1の8手は、はてるま手筋の原型。

ほっとさん「よくネタが続くもの。」

■投稿いただいている高飛車シリーズの9手作は本作で一段落。

RINTAROさん「前回同様、すぐには解けませんでした。」

■5手目に高飛車を指す手順が極めて少ないので、5手目に高飛車を考えてみようとするかが鍵。

諏訪冬葉さん「中間ヒントを読んで「飛車の手≠竜の手」に気付かず迷宮入りしてました。」

■はてるま手筋の多くは最終手と同じ筋での飛や龍の手なので筋を変えることは見落とし勝ち。

テイムガンバさん「自陣飛の出動手筋3種のうち1つはすでに出ているのでそろそろ2つ目の手筋が出るかなと予想していました。」

■予習が功を奏したようです。

ベベ&ペペさん「高飛車さんの勝ちというヒントで解けました。解けて納得です。」

■明言されていませんが、会話の感じでは先手が高飛車の手を指したように読み取れます。

中村丈志さん「合いきかずの詰めは意外でした。」

■高飛車の手が2筋なのでイメージしにくいようです。

飯山修さん「9手問題で高飛車君の後に飛車の手という設定の場合、高飛車君が後手になるのは無理ですか」

■後手の高飛車着手後に先手の飛の着手は9手では無理そうです。

ましろんさん「飛車の運用にはまずこの方法」

■はい、1間龍の合い利かずは真っ先に疑うべき手筋です。

原岡望さん「そろそろ種切れの危機か」

■10手作の高飛車シリーズに若干の余裕があります(笑)

占魚亭さん「145-2を解いた後に問題文を読み直したら「あっ」となりました。」

■確かに、5手目に駒取りした手も6手目も駒種は同じで、145-1はその1条件なので145-2を先に解くと見え易いかも。

緑衾さん「最近似たような筋の問題を解いた気がします。」

■もしかすると、144-2の2間龍の解図の時に検討された手順でしょうか。

\*\*\*\*\*

正解：14名

ミニベロさん はなさかしろうさん NAOさん ほっとさん RINTAROさん 諏訪冬葉さん テイムガンバさん ベベ&ペペさん 中村丈志さん 飯山修さん ましろんさん 原岡望さん 占魚亭さん 緑衾さん

\*\*\*\*\*

145-2 中級 ミニベロ 作  
93問題 9手

93問題は、「○手目は、○○」の書式の条件を3つ提示した9手詰問題です。さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・初手は、2手目と同筋同種駒
- ・3手目は、4手目と同筋同種駒
- ・5手目は駒を取る手で、6手目と同種駒

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

初級と同じく9手詰ですが、駒種や地点情報が無い悪魔系条件なので中級としました。

作者ヒント

ヒントに頼らず、145-1から順に解いてください。(ミニベロ)

締め切り前ヒント

使用駒は4種で8手目と9手目は異種の駒

\*\*\*\*\*

推理将棋 145-2 解答 担当 Pontamon

▲26歩、△24歩、▲25歩、△同歩、▲同飛、

△62 飛、▲22 飛成、△52 金左、▲31 龍 まで 9 手

(条件)

- ・ 初手は、2 手目と同筋同種駒 (初手▲26 歩、2 手目△24 歩)
- ・ 3 手目は、4 手目と同筋同種駒 (3 手目▲25 歩、4 手目△25 同歩)
- ・ 5 手目は駒を取る手で、6 手目と同種駒 (5 手目▲25 同飛、6 手目△62 飛)

詰上り図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	王	龍	科	皇			一
		飛	王						二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角銀歩

4 手目までが同筋同種の着手になっているので、どうやら無駄手がありそうな気がします。7 手詰の形に無駄手を入れてみるとどうでしょう？たとえば、▲48 銀、△42 銀、▲96 歩、△94 歩の後に▲97 角から 42 の銀を▲42 角不成で取って▲53 銀までの手順などです。しかし、これだと 1, 2 手目と 3, 4 手目の組の手順前後が可能なので、詰むのであれば余詰みななってしまう。1, 2 手目と 3, 4 手目の手順先後が許されない場合としては、7 筋の歩を突いてからの桂跳ねなら手順前後がありません。5, 6 手目が同筋であれば 5 手目▲65 桂に△62 玉と指して、桂の利きがある 73 地点への角成で 62 の玉を詰めることができます。参考 1 図はこの手順で 9 手で詰めたものですが、条件を確認すると 5 手目と 6 手目は同筋ではなく同種の駒なので失敗でした。

参考 1 図：▲76 歩、△74 歩、▲77 桂、△73 桂、▲65 桂、△62 玉、▲55 角、△52 金左、▲73 角成 まで 9 手

参考 1 図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	將	王			將	科	皇		一
	飛	王	王			皇			二
歩	歩	馬	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
		歩							四
			桂						五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香		銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 桂

5 手目と 6 手目が同種の駒であることに気を付けて指してみたのが参考 2 図です。5 手目と 6 手目は飛で、後手の△42 飛は玉の退路を塞ぐ協力手で、はてるま手筋の応用の▲71 飛成までの 1 間龍での詰みです。5 手目と 6 手目は同種の駒にできましたが、5 手目は駒を取る手でなければいけなかったなのでこの手順は失敗でした。

参考 2 図：▲76 歩、△74 歩、▲75 歩、△同歩、▲78 飛、△42 飛、▲75 飛、△52 金右、▲71 飛成 まで 9 手

参考 2 図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍		王	王	將	科	皇	一
				王	將		皇		二
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 銀歩

初手から、▲26 歩、△24 歩、▲25 歩、△同歩、▲同飛になりますが、6 手目は 5 手目と同種の駒とのことなので後手は飛を振ることになります。参考 2 図の▲71 飛成までの 1 間龍では

玉の退路封鎖のために△42 飛と指しましたが、2筋の龍では 51 玉を1間龍で仕留めることはできません。1間龍となるのは31の龍ですが、5手目で25に居る飛は7手目に▲22 飛成をすれば9手目に▲31 龍を指すことができます。となると6手目の後手の飛の行先は△62 飛で続いて▲22 飛成で、9手目に▲31 龍です。8手目は1間龍で詰むようにする後手の協力手の△52 金左で無事条件をクリアすることができました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

ミニベロさん(作者)「訂正です。まだ使う人いました。

145-1を解けば、これはすぐにバレそう。まあ9手ですから、難しくはないのですが。しかし粋な選題ですね。」

■気付いた方も居れば、素直に解いてから同一手順だと気付いた方もおられたようです。

はなさかしろうさん「裏推理をすると手は極めて狭い…のですが、まさかの同一回同一解。5手目の「駒を取る手」は外しても▲7六歩△7四歩▲7五歩△同歩▲7八飛△4二飛▲7五飛△5二金右▲7一飛成までぐらいしかなさそうで、この形に至る手順が特異なんだろうと思います。」

■単に5手目の駒取りだとか5手目と6手目が同種の駒という条件であれば沢山あるのですが…。

NAOさん「まさかまさかの同一手順とは。悪魔の条件だと見える景色も違って見える。」

■まさに見える景色が違いますね。詰み上がり同一なのは第13-2(リーグ戦ファン作)と第13-3(魚熊作)が同じ回に出題されていました

ほっとさん「まさかの同一手順。これは新手筋。」

■第30-2と第30-3では渡辺秀行作の同一詰み上がりツイン問題が出題されましたが、同一手順となるとこれまでは同一回での出題は無かったと思います。忘れた頃にやって来る飛先の歩

の手筋なら間があいた別の回ですし。

RINTAROさん「1の後にすぐ2を解けば、瞬殺できます。」

■ミニベロさんからの作者ヒント通りでした。瞬殺なら145-2を先に解いた方が有利かと。

諏訪冬葉さん「中間ヒントから145-1と近い手順なのは予想していましたが、同一とは予想外でした。」

■145-2から先に解かれると145-1が簡単になってしまうと考えての作者ヒントだったのかもかもしれません。

テイエムガンバさん「145-1を解き終わってひょっとしてこれ、この問題と同一手順では?と気づく。」

■それに気付けば難問の上級問題に専念する時間ができます。

べべ&ぺぺさん「まさか、同じ手順ですか? 驚きました。」

■条件が違えば別作品なのが推理将棋ですが、偶然にも投稿時期が近かったので同時出題にしました。(片方を出題すると結構間をあける必要があるのだ)

中村丈志さん「もしかして145-1と答は同じですか?」

■はい、145-1と145-2は同一手順でした。

飯山修さん「作意が同一の問題が同じ回に2題続けて出題されるのは史上初かしら」

■おもちゃ箱の推理将棋史上で初のようにです。

ましろんさん「さっきのもそういう将棋だったけど、」

■推理将棋の場合、条件が異なれば別作品となります。

原岡望さん「高飛車君と同じとは」

■解いてから気付いた口ですか？

占魚亭さん「最初に解けたのが本作。「5手目駒取り・6手目同種駒」の条件が最大のヒントでした。」

■初手～4手目の条件があるからのことですね。  
▲76歩、△42銀、▲33角不成、△52玉、▲42角不成、△31角から▲53銀までの詰み手順もありますし。

緑衾さん「こっちを先に解きました。面白い意図ですが、1手目と3手目は交換不可のはずでさらに5手目駒取り可だとかなり手が限定されます。裏読みでほぼ解けてしまいます。」

■5手目の駒取り条件があるので、手順前後が発生しない参考1図の手順は読みませんね。

\*\*\*\*\*

正解：14名

ミニベロさん はなさかしろうさん NAOさん  
ほっとさん RINTAROさん 諏訪冬葉さん  
テイエムガンバさん ベベ&ペペさん  
中村丈志さん 飯山修さん ましろんさん  
原岡望さん 占魚亭さん 緑衾さん

\*\*\*\*\*

145-3 上級 はなさかしろう 作  
攻方連続両王手詰 その1 19手

「隣の将棋が終わったみたいだけど、どんな将棋だったの？」

「19手で詰んだよ。11、13、15、17、19手目は互いに異なる局面での両王手だったな」

「へえ、先手の5手連続両王手で詰みだったんだね。ほかに目を引く手はなかった？」

「そうだねえ…2筋の手に対して2筋に成る手で応じたことがあったよ」

「なるほど。まあ、手数は長いけれど、結局10手目までの準備が肝だね」

さて、どんな手順だったのでしょか。

(条件)

- ・19手で詰んだ
- ・11、13、15、17、19手目は互いに異なる局面での両王手
- ・2筋の手に対して2筋に成る手で応じたことがあった

\*\*\*\*\*

出題のことば (担当 Pontamon)

5種類の両王手局面を作るように10手で準備しなければいけないのが課題です。

作者ヒント

飛の活用が肝。11、13手目に連続両王手がかかる形を見つければ解けたも同然です。

(はなさかしろう)

締め切り前ヒント

9手目の22への駒打ちに24への駒成で応じます

\*\*\*\*\*

推理将棋 145-3 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△42飛、▲33角不成、△62玉、▲42角不成、△66角、▲58飛、△57角不成、▲22飛、△24角成、▲53角不成、△51玉、▲42角不成、△62玉、▲53角成、△51玉、▲42馬、△62玉、▲51馬 まで19手

(条件)

- ・19手で詰んだ
- ・11、13、15、17、19手目は互いに異なる局面での両王手 (7手目▲58飛、9手目▲22飛、11手目▲53角不成、13手目▲42角不成、15手目▲53角成、17手目▲42馬、19手目▲51馬)
- ・2筋の手に対して2筋に成る手で応じたことがあった (9手目▲22飛、10手目△24角成)

詰上り図

後手の持駒：歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	王	馬	爵	科	皇		
二				王				飛		
三	歩	歩	歩	歩		歩		歩	歩	
四								銀		
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩	
八					飛					
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

両王手を先手が連続で掛けることができる配置にはどのようなものがあるかを考えてみます。

両王手は香・角・飛などの長距離砲の利きを遮っていた駒自身が移動して王手するとともに遮っていた長距離砲の駒の利きを玉に通すこととなります。連続の両王手をやるなら、たとえば、11の香と28の飛の初期配置を利用して、初手から▲38金、△34歩、▲26歩、△42玉、▲27金、△33玉、▲25歩、△24歩、▲同歩、△同玉、▲16歩、△14歩、▲15歩、△25玉、▲14歩、△33角の16手の局面からだと両王手の扉となる金を斜めに進めて行く▲16金、△14玉、▲25金、△23玉、▲14金、△12玉、▲23金で4連続の両王手をすることができますが、両王手では空き王手の扉の駒の金自身の手も王手する必要があるため、この順のように金移動で相手玉を押しに行くこととなります。したがって、盤上を押しに行くには限界があるため両王手を続けることが難しくなります。原因は扉となっている金が元の位置へ戻れないからです。

そこで、2つの両王手の形のそれぞれの扉の位置を行き来することができる駒を考えて作ってみた局面が参考1図です。この参考1図の手順では、角2枚の利きを遮る扉の位置に飛を配置して、飛の横移動で2つの両王手を切り替えて行く仕掛けになっています。飛は不成で2地点を往復して両王手をした後、最後の19手目は飛成して後手玉を詰めています。しかし参考1図の手順では、13手目から19手目までの4回しか両王手を掛けていないので条件をクリアしていません。また両王手の局面も3種類しかないので失敗手順になります。

参考1図：▲76歩、△34歩、▲22角成、△24歩、▲44角、△32飛、▲同馬、△52玉、▲14馬、△42玉、▲23飛、△32玉、▲33飛不成、△22玉、▲23飛不成、△32玉、▲33飛不成、△22玉、▲23飛成 まで19手

参考1図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	香		香	爵	科	皇	一
							王		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		龍	歩	三
					角	歩	歩	馬	四
									五
			歩						六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

両王手の最短手数である9手の両王手では、飛車の利きを角で遮る形式になっています。この9手の両王手の駒配置を改良してみるとどうでしょう？

参考2図の手順では両王手を開始する準備に14手掛かってしまいますが、この形からだと、73地点と82地点の駒が角の場合と馬の場合の両王手4種の後、最終手は5種目の▲71馬の両王手で、5連続両王手を実現することはできています。

参考2図：▲76歩、△74歩、▲55角、△62銀、▲82角不成、△73銀、▲78飛、△75歩、▲92飛、△76歩、▲同飛、△62玉、▲26歩、△51金左、▲73角不成、△71玉、▲82角不成、△62玉、▲73角成、△71玉、▲82馬、△62玉、▲71馬 まで23手

参考2図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	馬	香	香		爵	科	皇	一
飛			王				皇		二
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
		飛					歩		六
歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩	七
									八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 銀歩

準備に 14 手も掛かっている要因は 7 筋の歩の処理と▲78 飛だけではなく▲76 同飛が必要なことにあります。でも、飛 2 枚を縦と横に使って、角や馬が行き来する構造は良さそうです。7 筋以外で先手の飛を縦に使い易い筋はどの筋でしょうか。飛を縦に使うには先手の歩が邪魔をしていますが、先手自ら歩を進めて行くのでは参考 2 図と同様に手数がかかります。ここは後手の協力で先手の歩を取って貰うのが良いでしょう。△66 角から△57 角不成だと 5 筋の歩を 2 手で取れるので早そうです。この場合だと先手の飛は▲58 飛と振れば良いのですが、2 段目で使う飛は後手の飛を取る必要があります。後手の飛を何処で取るのが効率的なのかを考えると、42 地点が良さそうです。後手の協力は△42 飛の 1 手で済み、先手は▲33 角不成から▲42 角不成で飛を取れば、後手角が△66 角へ出て行くために必要な△34 歩の手を省略することができます。

初手から、▲76 歩、△42 飛、▲33 角不成、△何か、▲42 角不成、△66 角、▲58 飛、△57 角不成 のあと、9 手目に▲22 飛で 2 段目へ飛を打てば、22 の飛と 58 の飛の配置が完了し、2 筋の着手に 2 筋に成る手の条件をクリアする 10 手目の△24 角成を指すことができます。先の▲98 飛と▲78 飛の配置では飛の交差点の隣の地点の 62 玉でしたが、この手順では同様に 4 手目は 62 へ玉を移動することによって 11 手目の▲53 角不成が両王手になります。続いて△51 玉に▲42 角不成の両王手、△62 玉の逃げに▲53 角成で馬になっての両王手が 3 つ目。続いて△51 玉には▲42 馬で 4 つ目の両王手に最後は△62 玉に▲51 馬で詰みとなります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

はなさかしろうさん (作者)「両王手の最短は 9 手 (準備 8 手) …4-3 や 143-2 の手順で、詰みまで持って行ってしまうのは驚きですね。では連続両王手の最短は…本作意解の準備 10 手が最短ではないかと。本問は最短手数探索でもありますので、準備手数 10 手以下の手順があれば是非見たいです。」

■普段は詰みまでの手順を考えるので、呪縛から解放されて最短手数を探索するのもいいですね。詰まなくていいので「8 手目に両王手ができるのかどうか」を考えてみるとか。

ミニベロさん「連続両王手の原理図ですね。素晴らしいです。

詰将棋の原理図として見たことがある気もするが、これを推理将棋に応用するとは、完全にやられました。

3 5 手まで手数は延ばせるが、シンプルにこれでいいのかもしれない。」

■5 種類の両王手の形を作ろうとして、香や飛を 4 ~ 5 枚並べる発想からの脱却で、シンプルな配置が浮かべば解図に成功します。

NAO さん「異なる両王手局面が連続 5 回もできるとは。なるほど。」

■13 回連続両王手の 35 手詰みの順も解答いただきました。

ほっとさん「同一局面 3 回までを利用すると 35 手まで伸ばせる。なるほど。」

■千日手の成立ギリギリまで粘ると 35 手。

RINTARO さん「ヒントなしでは解けなかったです。「24 への駒成」のヒントが、57 角不成から 24 角成を暗示しているので、58 飛、22 飛の形を思い浮かべ、正解に辿り着くことができました。35 手は両王手を 3 回×2 繰り返すんですね。面白い作品でした。」

■ヒント投入の意図通りになったようで担当としても嬉しく思います。

諏訪冬葉さん「条件を満たしているはずですが、角と馬の違いだけで「違う局面」としているのでは何かもやっとしています。」

■13 手目▲42 角不成を▲42 角成として 17 手目▲42 馬だと棋譜は違いますが両王手の局面が同じになってしまいます。

ティエムガンバさん「これが「攻方連続両王手詰 その 1」ということで、この問題でかなり



手こずっただけに、その 2 以降ではかなり苦戦しそうです。」

■まだ投稿されていない（ここへ投稿いただけるのかどうかも不明）のですが、投稿作に記載されていたタイトルのままで出題させていただきました。

べべ&ぺぺさん「手数が長くて、更に苦手な両王手ということで解けませんでした。」

■2022 年の年賀推理にもちょっと長めの手数作がありますが出題期間が通常より 2 週間ほど長いので是非解図してみてください。

飯山修さん「直前ヒントの 24 に成る駒が角とは到底思えず飛車を本線にしたため苦戦。52 玉なら 11 手で詰んでのに 62 玉にして 19 手に伸ばすんですね」

■ヒントが功を奏したようですね。

ましろんさん「ヒントがなければ思いつきませんでした。それにしてもずるい感じのする異局面両王手でした。」

■「5 つの両王手の着手」の条件だと限定できないので「局面」となっています。局面は「盤上の駒」「持ち駒」「手番」の全てを含んだものになります。

原岡望さん「二枚飛車の縦横配置に気付かず大苦戦。締切日 18 時、ようやく解決。何とか有終の美を飾れて一安心。」

■締め切り日、棋力 3 倍の法則！？

占魚亭さん「全く見えません。降参。」

■歩成、香成、桂成での両王手は 1 回限りなので、連続両王手なら大駒を活用するという筋書きでした。

緑衾さん「自陣の飛車を使うことを思いつけずヒント待ちになりました。先手が 2 筋へ成るのは無理そうなんだから後手のケースを考えないといけませんよね。」

■後手角の生・成と行先の限定と先手の飛の打ち場所を限定するための条件でした。

\*\*\*\*\*

正解：11 名

ミニベロさん はなさかしろうさん NAOさん ほっとさん RINTARO さん 諏訪冬葉さん テイエムガンバさん 飯山修さん ましろんさん 原岡望さん 緑衾さん

\*\*\*\*\*

総評

ミニベロさん「今年は、創作も解答もさんざんでした。来年は無事故を目指してがんばります」

■担当もさんざんな年だったので、気を引き締め直して 2022 年は無事故を目指します。

ほっとさん「2022 年もよろしくお願ひします。」

■こちらこそよろしくお願ひします。

RINTARO さん「同手順でも別作品。偶然のバッティングだったのでしょうか？」

■同時出題は意図的でしたが、作品投稿は偶然でした。担当には何か記憶があって、最近、解説で使った参考手順かなと思いました。

べべ&ぺぺさん「今回は、2 問の解答です。」

■解けた問題の解答で結構です。解けなくても感想をどうぞよろしくお願ひします。

飯山修さん「ヒントなしで全問解答は無理と割り切り 3 番は手をつけてなかったがここまで親切なヒントが出ても難しい。」

■今回は上級のヒントが少し足りなかったかも。でも、「9 手目の 22 への飛打ちに 24 への角成で応じて 58 の飛を使えるようにします」だとやり過ぎかな。

原岡望さん「来年はお手柔らかに。よいお年を！」

■ 2021 年の後半は難しめな出題だったかもしれませんが。2022 年は客寄せの易問を初級で出題できるように選題したいと思います。

占魚亭さん「年内ラストは何とか 2 作解答。来年もよろしくお願いします。」

■ 来年も推理将棋をご愛好お願いします。

緑衾さん「こんなのもありなんですね。作者が違うので偶然なのでしょうか。」

■ 9 手の 2 作のことですよ。同手順作の投稿は偶然でした。

担当から：

今年は、作者からの中間ヒントを締め切り 2 週間前に投入する試みを定着化してみました。締め切り前ヒントよりは、解図の難度を残すヒントになっていたかと思います。解図が易しくなり過ぎないような中間ヒントを提供していただいた作者の皆様のご協力に感謝いたします。

担当として 3 年目に突入してから余詰を連発してしまい、2021 年の後半はご迷惑をおかけしっぱなしでした。2021 年の推理将棋を盛り上げていただいた、作者ならびに解答者の皆さんに感謝を申し上げます。それでは、皆さん、良いお年をお迎えください。

\*\*\*\*\*

推理将棋第 1 4 5 回出題全解答者： 1 4 名  
ミニベロさん はなさかしろうさん NAO さん  
ほっとさん RINTARO さん 諏訪冬葉さん  
テイエムガンバさん ベベ&ペペさん  
中村丈志さん 飯山修さん ましろんさん  
原岡望さん 占魚亭さん 緑衾さん

\*\*\*\*\*

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クイーンの上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

【受先】

受方から指し始める。

※各題Gの総駒数は4の設定です。

<問題>

【15-1】

協力自玉詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王					一
									二
王									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 G

83 飛 13G 23 銀 33G 43 金 53G

63 銀 73G 81 飛 まで 9手

たくぼん—金と銀の並びがきれいですね。これは楽しい。

占魚亭—金駒の間を跳ぶ。

変寝夢—このGのタイプの作品も沢山見ましたが、中々被らないものですね。

飛角を使うと王手になるので敢えて金銀を使うところが面白いと思いました。

<総評>

変寝夢—なるほど、1 2 と来て3でしたか。

まだあと1、2回飛ばせそうな気もしてきました。

グラスホッパー、奥が深いですね。

【15-2】

協力自玉詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

		王							一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
						王			九

持駒 G

72 飛 79G 78 飛 77G 76 角 75G

74 角 73G 32 飛 まで 9手

たくぼん—最初斜めかと思いましたが、Gが戻って防ぐ手がありましたね。

占魚亭—大駒の間を跳ぶ。

変寝夢—これは逆に飛と角ばかりですね。あと31玉79玉だったらどうなのと思ひ、試したところ最終手が成生非限定になるんですね。

【15-3】

協力自玉詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				王					二
									三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 G

24 飛 94G 84 角 74G 54 角 44G

23 飛 41G 32 飛打 まで 9手

たくぼん—同じ調子でと気楽に考えたら汗をかきました。破調かつ左折するとは意地が悪い。

占魚亭—23 飛からの転調が味。

変寝夢—前二局がストレートなら、こちらは高速スライダーかな。幼い頃宮崎でよくやった水切り遊びを思い出しました(持ち方と投げ方でスライダーできるんです)。

# やさしい Imitator PART4(解答編)

占魚亭

解答発表です。たくぼんさん(全問正解)・変寝夢さん(1問正解)・和田裕之さん(2問正解)から解答をいただきました。ありがとうございました。

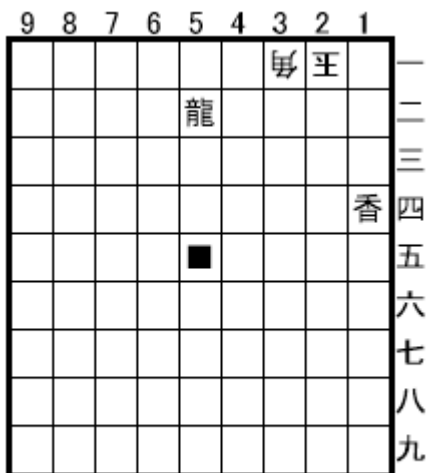
## 【協力詰】

双方協力して最短手数で受方玉を詰める。

## 【Imitator(■またはI)】

着手をした時、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

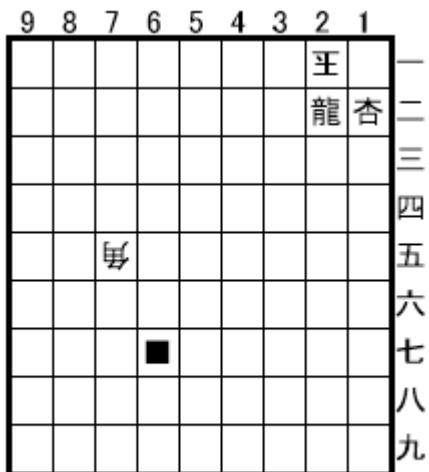
1. 協力詰 3手



持駒 なし

## 【手順】

12 香成[I53]、75 角[I97]、22 龍[I67]迄3手。(詰上り)



持駒 なし

★客寄せ(?)の3手からスタート。

12 龍[I15]や 22 龍[I25]は駒を打つ受けがあるので普通に香を成ります。75 角[I97]で Imitator を盤端に運び、22 龍[I67]で詰め。

両王手狙いが一目なので、易しかったと思います。

## 【短評】

### たくぼんさん

これは一目と言いたい所ですが、防手はないかと結構確認しました。

### 変寝夢さん

最終手で 32 と悩んだ。

32 玉と普通に取れることに気がついてずっとこけた。

★Imitator の感覚に慣れると、普通の着手が盲点になりがちです。

### 和田裕之さん

最後は両王手なので I の進路妨害では防げない。両王手でないと簡単に I の隣に合されて防がれる。

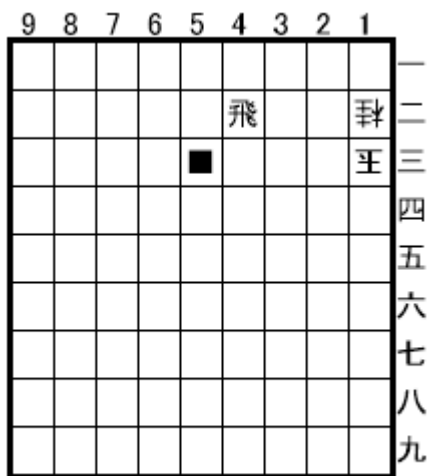
最初玉方に持駒があるのを忘れてて 12 龍で1手詰かと思った。

持駒なしなら普通詰でもこの順で詰んでますね。

★12 龍の局面から作った記憶があります。

2.

協力詰 4手(受先)

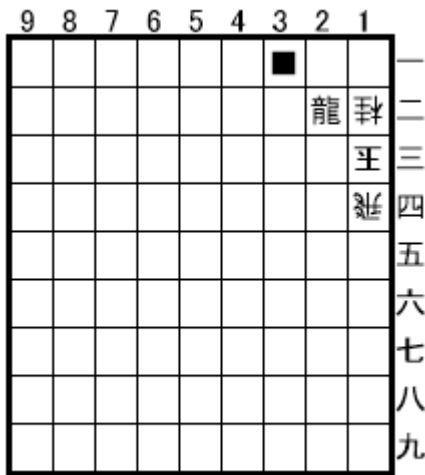


持駒 歩

## 【手順】

16 飛、14 歩、同飛[I51]、22 飛成[I31]迄4手。

(詰上り)



持駒なし

★続いては、受先の4手。

「14 歩、同X、22 飛成」の手順成立を目指します。歩を取れるのは飛車か金ですが、金だと 22 飛成に同玉と指せるので飛車しかありません。飛車の打ち場所は Imitator の位置から 15・16 の2か所に絞られますが 15 は金を打った場合と変わらないので、16 に打つことが確定します。

「Imitator を盤端に」を意識すれば駒種と打ち場所がすぐに分かるので、本作も易しかったと思います。

【短評】

たくぼんさん

退路を塞ぐように取歩駒を発生させる。Imitator との距離感が大事ですね。

変寝夢さん(コメント)

斜めだと3マスで影挟みが出来るんですね。

★盤端の有効活用です。

和田裕之さん

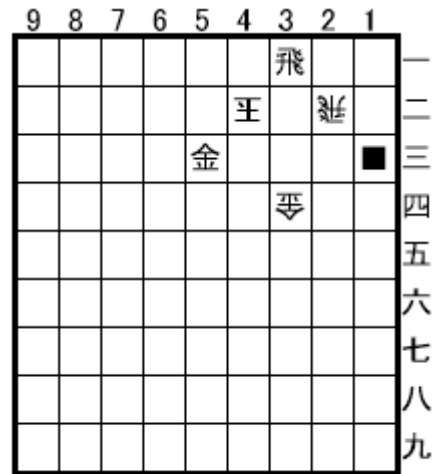
持駒歩なので、歩打、x、xしなくて初手は取られ駒の設置ではない。

3手目に 22 玉と行けるように、52x、14 歩、22 玉 / 62I、13 歩成 / 61I が思いついて、うまく1段目への逃げも同玉も阻止しているが、33 玉 / 72I は可能で詰んでない。

3手目で 1 を下げられるように、取歩駒を配置する！ できた！

3.

a)協力詰 5手

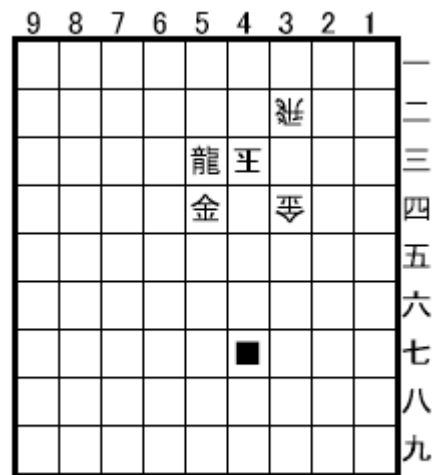


持駒なし

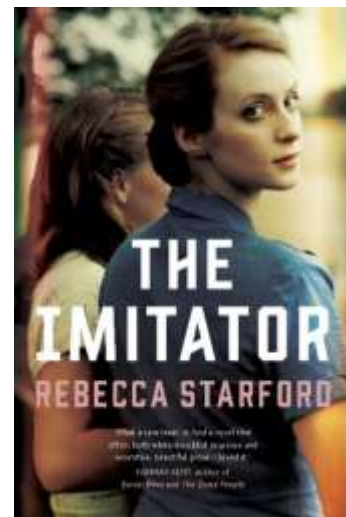
【手順】

51 飛成 [I33]、32 飛 [I43]、54 金 [I44]、43 玉 [I45]、53 龍 [I47]迄5手。

(詰上り)



持駒なし



b)協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						飛			一
					王		延		二
				金				■	三
					王				四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【手順】

32 飛成[I14]、51 玉[I23]、41 龍[I32]、24 飛[I34]、  
52 金[I33]迄5手。

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王	龍				一
				金					二
							■		三
					王		延		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

★ラストは5手のツイン。

どちらも両王手(または擬似両王手)を目指すの  
は一目だと思いますが、「やさしい」とは言えな  
かったですね。すみません。

a)は 51 飛成[I33]から行きます。4手目 43 玉[I45]  
がポイントで、飛と金をブロック駒にして 53 龍  
[I47]の両王手が決まり、詰みです。

一方、b)は 32 飛成[I14]から行きます。51 玉[I23]  
と逃げるしかなく、以下、簡単な(?)3手詰です。

なお、a)で 32 飛成[I14]は 51 玉[I23]、41 龍[I32]  
の時に受方金が 34 にあるため 24 飛と指せず失  
敗、b)で 51 飛成[I33]は 32 飛[I43]の時に受方金  
が 44 にあるため 54 金と指せないので失敗となり

ます。

【短評】

たくぼんさん

5手になるともうやさしいの範疇を超えます。  
両王手というのをとりあえず目標に解図ですね。  
a)は 43 玉が盲点でした

変寝夢さん(コメント)

なるほど、占魚亭さんワールドですね。  
どちらも詰上がりが新しく感じました。

和田裕之さん

いろいろ考えましたが、時間切れ。

【総評】

変寝夢さん

3手以外は解けないことが確認できました。  
占魚亭さんらしい接近戦の Imitator、力強いです。

★久しぶりの Imitator 個展はいかがだったでしょう  
か。初解答の方もいて、嬉しかったです。

発掘した作品はまだあるので、「やさしい」に  
「？」がつきますが年内に個展を開催したいと思っ  
ています(時期が悩ましい……)。その際はよろしくお  
願いいたします。

# フェアリー入門

フェアリー入門の第1回は王道中の王道「協力詰」です。協力詰超入門で大きく門徒を広げようとしたが、入門用協力詰への投稿が僅か2作でした。担当者作と合わせて合計3題の出題となります。

駒井めい氏は WFP 初登場。今後どのような活躍をされるか楽しみな方です。あとはベテラン占魚亭と数合わせのたくぼんです。

入門用ですので、これまで WFP に解答を送ったことがないというあなた！是非とも解図に挑戦して解答をお寄せください。

## 【ルール説明】

協力詰とは、先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

解答締切：2022年2月15日（火）

解答送り先：

たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

※各作品への短評（長評）をお書きください。

\*\*\*\*\*

### ① 駒井めい作

協力詰 5手


持駒 金2

### ② 占魚亭作

協力詰 5手


持駒 飛桂

### ③ たくぼん作

協力詰 7手


持駒 金2

\*\*\*\*\*

第2回の募集ルールは、受先協力詰です。



繰り返しになりますが簡単なルール説明をします。

協力詰とは、先後協力して最短手数で受方の玉



を詰める。

協力詰の説明は先月号に詳しく書いていますのでそちらをご覧ください。今回は協力詰に「受先」が付いた「受先協力詰」です。では「受先」とは、

### 受先

受方から指し始める。

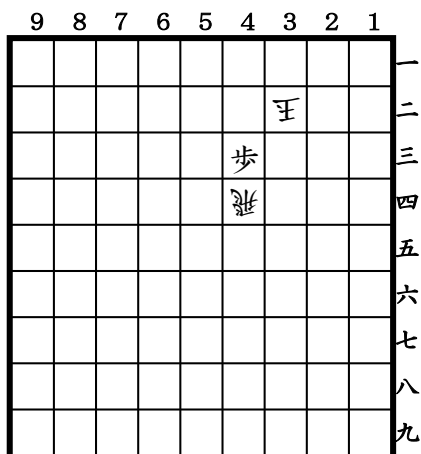
#### [補足]

手数 of 偶奇やルールから判別できる場合は省略されることおもある。

読んで字の如し！ですが、詰将棋は普通手数が奇数となります、攻方から指し始め攻方が止めを指して終わります。しかしこの受先協力詰は受方から始めます。止めは攻方ですので手数が偶数になります。でここが肝心なのですが、受方の初手には王手義務がありません。もちろん単玉の作品だと王手したくても攻方玉がありませんので王手したくても出来ませんが、双玉の場合でも王手は必要ありません（もちろん王手をしてもかまいません）。

では簡単な例題を見てみましょう

### 協力詰



持駒 金

上図では通常の協力詰では3手の完全作です。

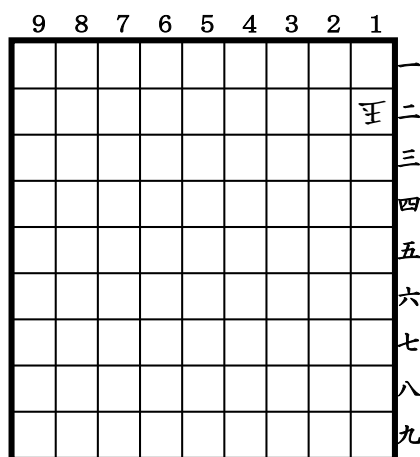
33金 41玉 32金 迄 3手

では、受先協力詰だとどうでしょう。受方は初手 41玉とすれば、42金 迄 2手で詰みました。

受方玉を詰み易い位置へ移動する手筋です。

ではもう1つ。

### 受先協力詰 6手



持駒 金

これは受先で無ければ絶対詰みません。果たして受先で詰むのでしょうか？

正解は初手 32金と打つ手です。守りが強力になったようですが違います。

32金 23金 21玉 32金 11玉 22金打 迄

そうです。質駒にするんです。駒がもう1枚ないと詰まないのですから当然といえば当然です。質駒発生がもう一つの手筋です。

この図位だとどこに質駒を発生させるかはちょっと考えれば分かりますが、初手王手義務がないという事は結構紛れを読むことになります。通常の協力詰に比べると紛れは多くなると思います。

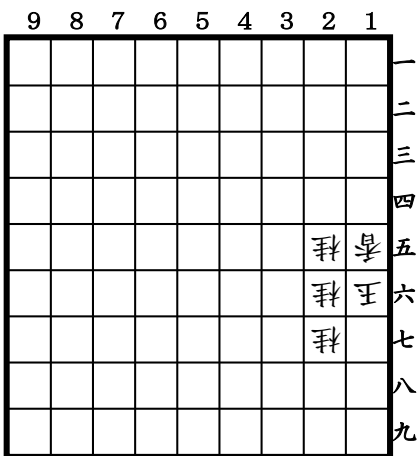
最近ブームの「最後の1ピース」も受方駒を盤面配置することだけに限って言えば受先協力詰と同様のルールと言えますね。

ではその他の意味付けの過去作をいくつか鑑賞してみましょう。

2008年6月詰パラ：神無一族の氾濫②

神無太郎作

ばか詰 6手



持駒 香

桂合させて桂を奪い 28 桂の吊るし詰を狙いたくなります。でも桂を合駒できるのは 17 地点だけで同香と取ると玉が 17 へ移動するので 28 桂と出来ません。18 桂成の筋も 26 地点が空いてだめです。で初手は・・・。

19 飛!

17 同香の時に同玉ではなく同飛生と取るという意味付けです。28 桂の為に不成で取るというものもいい味です。手順を書きますと、

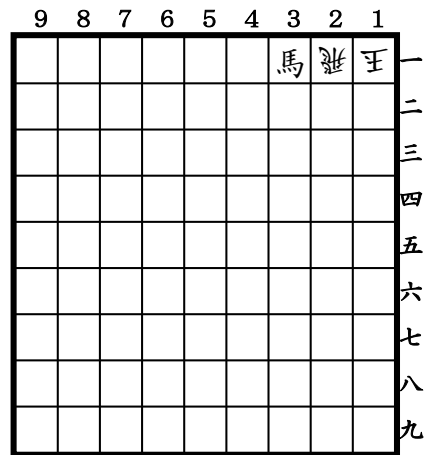
19 飛 18 香 17 桂 同香 同飛生 28 桂 迄 6 手  
取駒として 28 銀や 39 角などは 28 の利きが消えないので最終手が出来ません。19 飛は取駒発生という意味付けの 1 手でした。



昨年亡くなられた長谷繁蔵さんも受先協力詰を発表されています。これも紹介しておきましょう。

長谷繁蔵／詰将棋パラダイス／2008年10月

ばか詰 4手

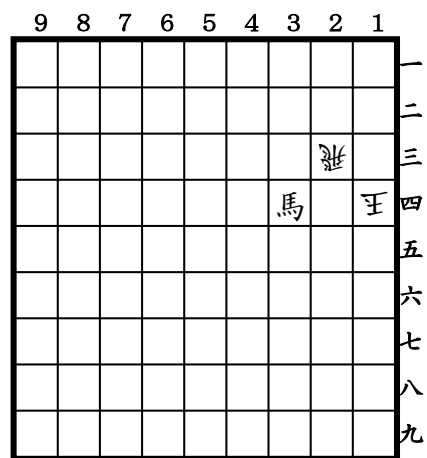


持駒 桂歩

22 飛 12 歩 同飛 23 桂 迄 4 手

長谷繁蔵／詰将棋パラダイス／2008年10月

ばか詰 4手



持駒 銀

26 飛 25 銀 15 玉 24 馬 迄 4 手

ルール説明の補足にもありましたが、「受先」と記載しない場合も多々あります。WFP では親切に記載することがほとんどですが、単に偶数手数に記載だけの場合もありますので注意しましょう。この 2 作は飛の移動（退路封鎖と利き外し）退路封鎖だけでは持駒を打つ方が早いのもう一つの理由付けを足すことが必要です。

最後に最近の好作を 1 つ。

青木裕一／詰パラ／2017年6月  
ばか詰10手

持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
						歩	歩		六	
							王	歩	七	
									八	
								銀	銀	九

持駒なし

初形で攻方が手番だと28銀右の1手詰ですが、手番は受方です。受方に持駒がありませんので受方は歩を動かすか玉が動くかしかありません。正解は37玉としてあとは銀を繰り返して9手目で初形と同じ盤面に持っていくというマジックでした。受先の新しい表現方法を魅せてくれた好作です。

37玉 28銀直 38玉 27銀 29玉 18銀引  
38玉 29銀 27玉 28銀右 まで10手

このルールは協力詰に比べ発表数もかなり少なくまだまだ未知な世界が広がっている世界です。詰パラに作品が発表されたのは2008年の神無一族の氾濫での2作が初出ですのでまだ13年しか経っていません。今回紹介した作品以外にもいろいろな意味付けが考えられると思います。初心者向け作品が出来ましたら是非投稿をお願いします。凝った難しい作品が出来た場合はWFP作品展他へお願いします。

## 第2回フェアリー入門

### 【(受先協力詰) 作品募集】

入門用の易しい受先協力詰を募集します。

### 投稿の仕方

#### 〔作者名〕

発表時に記載する作者名をお書きください。ペンネームでの発表の際はその旨お書きく

ださい。

#### 〔ルール名〕 受先協力詰 ○手

応募の際、ルール名と手数を必ずお書きください。

#### 〔図面〕

初形が分かればOKです。柿木ファイルや、Kife for Windowsのkifファイルに手順を打ち込んだものでもOKですし、

攻方：43角、56桂

受方：52金、53玉

持駒：なし

のような表記でも構いません。

#### 〔詰手順 (作意)〕

52角成 同玉 44桂 51玉 52金 迄 5手

のような表記をお願いします。柿木ファイルやkifファイルに手順入力されている場合は上記記載は無くてもかまいません。

#### 〔狙い〕

作品の狙いがあれば書いてください。

#### 〔作者コメント〕

その他作品に関することや、自身に関することと作品に添えての一言があればお願いします。

#### 〔投稿先〕

メールにて受付します。

たくぼん： takuji@dokidoki.ne.jp

#### 〔投稿締切〕

2022年2月15日(火)

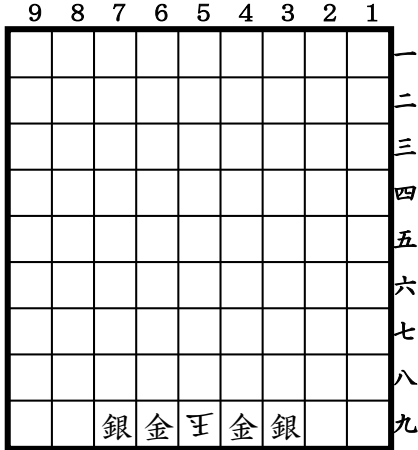


※作品が集まらなかった場合は募集期間が延長する場合があります。

# 年賀詰紹介

2022年ネットで発表された年賀詰を紹介し  
ます。手順を公表されていない作品は図面のみ  
紹介します。

## 1. 山下繁実作 「初形と詰上り「一」

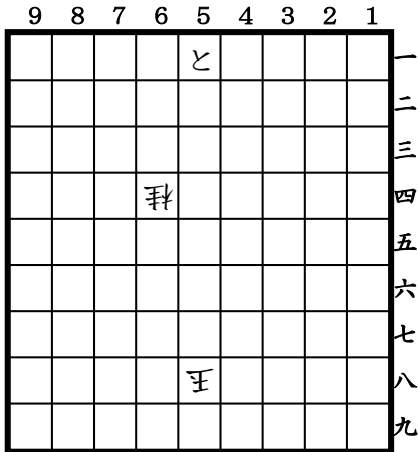


持駒 飛

※ルールは普通詰将棋でも協力詰でもどちら  
でも一緒。おもちゃ箱では初形で不規則な両王  
手がかかっているためかフェアリー扱いの作  
品。

## 2. 加賀孝志作 「ユーモアが必要」

背面協力詰 15手



持駒 歩

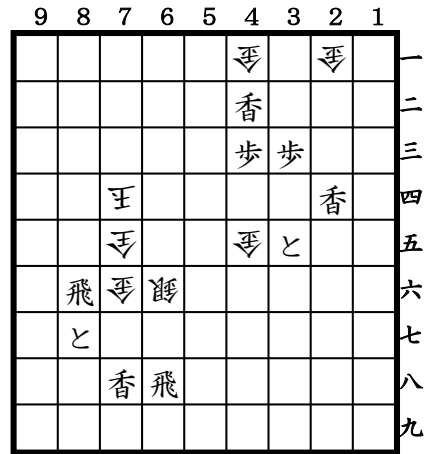
※加賀さんらしい初形。作意は最後に。

### 【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利き  
が入り替わる。

## 3. たくぼん作

強欲協力詰 31手



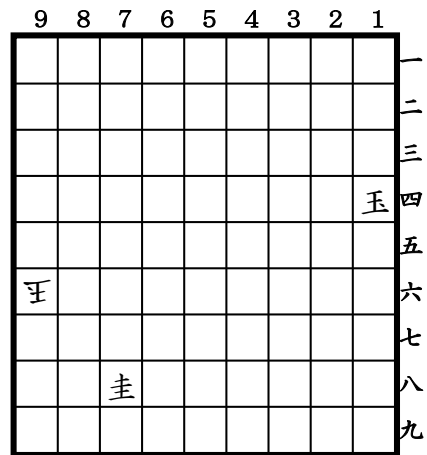
持駒 歩

### 【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

## 4. 変寝夢

協力白玉詰 20手



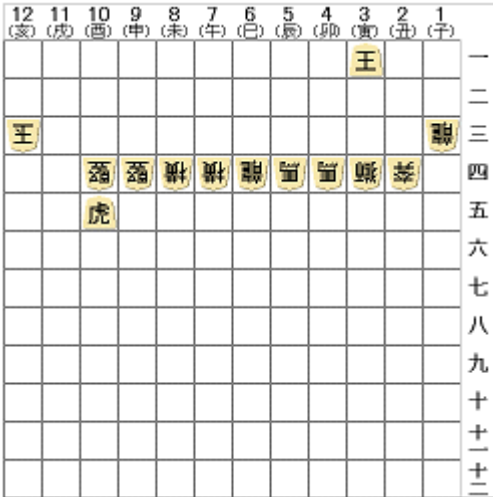
持駒 象5

象：斜めに二路進めるが、駒を飛び越えること  
はできない。



5. 山口成夫

中将棋協力詰 23手

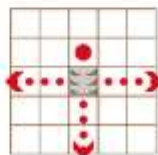
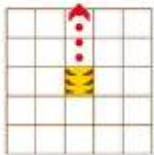


6. 中倉彰子

もんだい



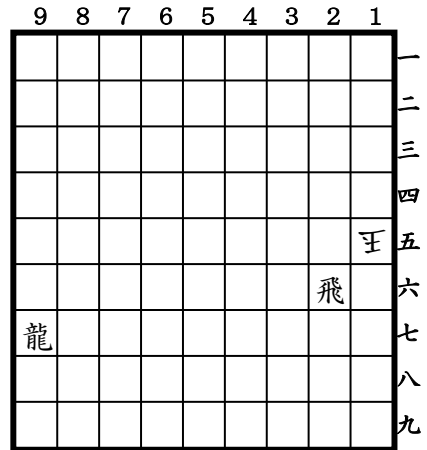
とら駒



7. Springs-1

協力スタイルメイト 3手

持駒 なし



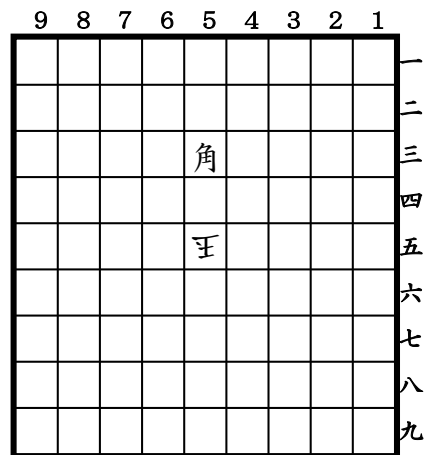
持駒 なし

※15玉はTorus-P(2022)-Leaper王

8. springs-2

スタイルメイト 1手

持駒 なし



持駒 角

※55玉はTorus-P(P<sup>2022</sup>)-Leaper 王

【(a, b)-Leaper】

aa 対 bb の方向に跳ぶ八方桂。

【P(n)-Leaper】

nn は任意の自然数で、 $n=ab$  となるすべての自然数 a, b に対し (a, b)-Leaper を複合した駒。

具体例は、WFP 作品展登場ルール一覧 (PDF) の頁 8 を参照。

【Torus-}P(n)-Leaper】

盤がまるでトールラスであるかのように動く  
P(n)-Leaper。各利きは盤内にある。

【協力スタイルメイト】

先後協力して、最短手数で「王手は掛かっているが合法手のない状態」にする。攻方の着手は最終手のみ非王手。

【駒詰】

玉が指定駒の性能になる。ルール名は「駒名＋王」で表す。

9. Pontamon

推理将棋「令和4年の指し初め」

「11手で詰んだ令和4年の指し初めは4尽くしだったね」

「着手があった筋は1筋から4筋までの4つの筋だった」

「あと、4手目からの4手は後手が指した地点の隣へ先手が指したね」

条件

- ・ 11手で詰み
- ・ 1～4筋の着手のみ
- ・ 4手目からの4手は、後手着手の隣へ先手が着手した

\*\*\*\*\*

【解答】

1. 山下作

49玉 59飛 迄 2手

2. 加賀作

59歩 57玉 58歩 56玉 57歩 55玉  
56歩 54玉 55歩 53玉 54歩 55桂  
52と 63玉 62歩生 迄 15手

3. たくぼん作

84飛 同玉 85歩 同玉 76と 同成銀  
75金 同玉 76香 同玉 66飛 同玉  
55銀 同玉 45と 同玉 44金 同玉  
53銀 43玉 52銀生 42玉 41銀成 同玉  
32金 同金 同歩成 同玉 23金 21玉  
22金 迄 31手

橋本孝治

初形「とら」、詰上りは「22」、駒種は昨年の漢字の「金」。年賀詰要素満載の年賀詰ですね。

4. 変寝夢

87成桂 85玉 76成桂 74玉 65成桂 63玉  
54成桂 52玉 43成桂 同玉 25歩 33玉  
15歩 42玉 24歩 41玉 23歩 31玉  
13歩 22桂 迄 20手

7. springs-1

25飛 52玉 88龍 迄 3手

8. springs-2

57角 迄 1手

※7, 8の詳細な解答は springsさんの note をご覧ください。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2022年2月10日(木)

#### 推理将棋 146 回出題

推理将棋 9 題

### 2022年2月15日(火)

#### 第 137 回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 1 題

推理将棋 1 題

#### Fairy of the Forest #69

協力詰 6 題

#### フェアリー入門 (協力詰)

協力詰 3 題

## 作品募集一覧

#### フェアリー入門 (受先協力詰)

。新コンテンツです。易しい作品大募集です。  
新人さん大歓迎！

投稿締切：2021年2月15日(火)

投稿先：たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

(詳細は P57 参照)

#### 第 1 回最後の 1 ピース作品展

・5 手以内の最後の 1 ピース

投稿締切：2022年1月31日(月)

投稿先：馬屋原剛

(詳細は P30 をご覧ください)

#### 第 56 回神無一族の氾濫

課題：「○○だったら 1 手詰」

募集締切：2022年4月17日(日)

送り先：神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com)

※詳細は P14 をご覧ください

\*\*\*\*\*

先月号「はじめに」の作品の解答を載せるのを忘れておりました。

19 香 18 角 同香 同金直 36 角 迄 5 手

橋本さんより解答を頂きました。

「角の田楽刺しは珍しいですね。WFP162 号には両王手を狙うように書かれていましたが、両王手は無理です。両取りすら掛かりません。」

★度重なる大失態。全然両王手ではありませんでしたね。何ぼけているのだから・・・(泣)

冒頭の作品の解答

55 王 64 角 66 玉 77 銀 57 玉 68 銀

66 玉 57 銀打 迄 8 手

詰上図

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			歩	角					四
									五
			ス	王	角				六
					銀				七
				銀					八
									九

※受先&持駒制限による妥協、74 歩は不要駒、これでは予備作は当然でした。

2022 年 第 163 号

### Web Fairy Paradise

非売品

令和四年一月号

令和四年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp